

8

8

M. 23. 10. 25
~ 11. 14

以下は預けて、M. 24. 1. 26
までの間は主要工場の作業。

M 24. 1. 27
~ 3. 05

つきよたび

明治二十三年

二月至三月五日

自十月二十四日

第八

江戸のたけ

ハニ

明治二十一年十月二十五日(土)

今日天気快晴ナル上幸吾大學、早稲奇
アリ午前十時頃マダハ為スモテハ吾
ルカ 船ヲ矢島要め来リ次ヲ田切
南寿次郎宅来ル由テ十二時ヨリニ人
伴ヒ芝ヲ工料大學ヲ案内シテヨシクセシ
ル時 矢島幹治カモ吾子来リ四人ニテ
ブラク(歩行シタル)後カ田切ハ家ニリシ
人ニテ運動等ハ赴ク勝負化(アリテ
面白キ余ハ 矢島ト共ニ三時頃家ニ出
リ茶菓ヲ召ニ進テ三時五十分夕食、
後 矢島帰ル余ハ 津保町ニ赴キ所
ヲ訪フニ不在ナリ即チ 後夕食ニ赴キ
吾田ノ 行ヒテ一時的斗リニシテ
柳井 矢島ヲ訪フニ 兄モ 矢島モ来リ
ツ、アリテ夜九時ニ至リ、後 矢島ハ
別リ余ト兄トハ 矢島ヲ引キ出シテ
カ川河ヲ遊ギヌ 矢島ハ 余等ニ牛
肉ヲ馳走セリ余等ハカ川河ノ工
勝ニテ夕食ナリ十時 矢島ト別ル
夫レヨリ 余ハ 兄ト共ニ 田毎ト云フ
料理店ニ入り十二時迄ニテ飲

いかり家元、陣田中一十の所
以に奥流しの方、加へて大流しに
今ハ見ルがモ、魚キ十店ニテ又唱
呼出シルベキ哉、一時家元ハ
意ニシテ

二十六日 (月)

11
12
13

八時半頃まで寝たアリシニ即ち
 勉強等ヒ来リ昼ニデハ思ヒモ付
 カ又馬場に出シテナス午後起ルル
 余ハ一時出テ新居ヲ訪ヒテ新居
 代ニテ是ナル所ニ借リ受テ直リ
 内村氏ヲ訪ヒテ先ニ十ヶ年ノ
 氏ノ年費ヲ取リ家ノ外ニハソスル
 内村保三氏ト東京ニ出テ及ビ
 葡萄酒ヲ土産ニ置キ直ニ平田ノ行ク
 余ハ其ニ酒ヲ以テ葡萄酒ヲ煮テ酒
 酌ニ徹醉シテ十時半迄ニ就ク
 (余ハ車ヲ取リテ原町ノ五ノ松井ニ新居
 代ヲ探ヒテ来リ)

二十七日(月)

五

正午和電スハ有為守就添四石五十部
出東口三時半和電スハ新保文佐氏来
リカ日暮後和リ身替ヲ小林保我氏来
ル由テ昨日録シル苗ヲ煮大ニ酒ヲ飲
シテ強ク、配布ヲ尽力セカ九時頃
全ク終ヘテ和電ナル十時小林歡説ヲ
見シテ和電全号モ十一時終ル

1. 2. 3.

二十七日(水)

例ハ通り五時帰宅シ休憩、後教舎ヲ
 終ルニ向テカクイ供昇陽来リツツ用
 事ト申スハ彼ト同輩スハ矢島義助ナレモ
 先川ノ家ニ居ルヲ嫌ヒテ流布ニ其情ヲ
 示シ是れ其轉家スルト云フニ由リ御モ
 大ニモテアマレ余ニ相控及ヒルナリ余ハ
 矢島カ全ク無分別ナル其終ヲ云フニ呆
 レガ夫レ就テイル(控流布ス内矢島
 モ来リ余ハ矢島ニ種々ナルト云ヒ同カ
 セツテ了簡ク責ムルハ彼ハ大ニ誤リヲ
 悔ヒテ眾ニ謝スルニ御供モ傍ヨリ
 ナカニ彼レヲ使テ轉宿ヲ思ヒ止マラセ
 タリ爾レ矢島ハ其日他郷ノ网友ト同
 子ト至リ別處ニ去原ヲ見物セリテ大
 ニ喜ヒテ物語ヲセシ由ツノ网友ヨリ彼レ
 大敵ナランニ彼ハ世召知ラズ、小見ナレバ
 ナレモ知ラズト恐ルベシ伊レ矢島モ巴
 ナハオ何ソ一箇ノ考ナカク彼レモ一箇ノ
 考ル策ナリ然レハ一ツモ考ヘト云フ
 モ、無シ如クニ田舎ノ藪ソダヤトハ云ヘ餘
 外ニ云ヘバオカンナ萬アルバドモ行末

天 十 一 日 十 一 日 十 一 日
月 十 一 日 十 一 日 十 一 日
火 十 一 日 十 一 日 十 一 日
水 十 一 日 十 一 日 十 一 日
木 十 一 日 十 一 日 十 一 日
金 十 一 日 十 一 日 十 一 日
土 十 一 日 十 一 日 十 一 日
日 十 一 日 十 一 日 十 一 日

覚束ナイ様汗、九時両差り〜余ハ俗
ヲ返リナガ本邸マテ数寄ニ出カケ返ニ
兩人ヲ平野庵ニオゴリ十時半家ニリ
リ十一時迄ニ迄

九
二十日(水)

余が日比博スル大内若天辰士名ハ牛之
 助ト云ツテ牛ノ孫ニロクトラウ人デシク牛
 ノ孫ニ意味デバツガケレアルコトヲ念入
 フク喜傑ト云ツテ尾ノ次グ大ナイトツテモヤガ
 如キ頃河童ノ體愛ヤルコトノ幾分ガ
 肝門ニ開イテ居ル故徒々太イ糞ヲル
 大ナ屁股ヲルコト云フ六ノ數キ先生ナリ
 コ大内先生今夏白河ヘ赴任セラル
 ルイ付中上野青陽樓ニ於テ四時ヨリ
 別室ヲ開キ今日ハ江奈先生モ新入
 會員トシテ別席アリ女ノハ喝天、后天、
 油粉主、ペンブル、猿、仁王、甲鉄艦、
 ナド綽名ヲ取リハ奴原博若無人ニ
 流暢ラウ吹キマハセカ五時半酒宴ナリ
 若氏ノ演説中々ヨレ管ヲ終ル後
 一同別室ニテ茶ヲ飲會ノ儘シカガ那
 珂先ヅロアテ例、泥棒崎シテ女ノ
 以ハ喝天脚氣博士得意、妙辨ヲ
 フリマツテ愉快ナル物ヲ云フ女ノ以
 一同ハ暢ラヒルガヤヒテ興ニ笑ヒキリ
 女ノ伊達コノ時ニキ集會ハ世ニダヒサカシ

大内ハ色々交際上ノ秘訣ヲ示シテ
ニ12 question 遊ビテ九時一同
解散セル内ニ余ト見ト江奈ハモ
一々飲ミ直シテ陽島天津社内、例
ノ奥長ト押入リ餘程飲レダ上ケ句ニ句
トアラ云ツタナレバ猫ヲ呼ビスツヤンヤレ
ハテンテコラント大サワギヲヤカシク余ハ
元来今日ハ酔ヒ兼ムル仔細アリシモ猫
苗ニ酔ヒセラレタリ如何様猫ハ魔物ナケ
ル彼ハ余ノ鉄石心ヲ酔ハシムル妙術
ヲ有スルツケリ"ニヤーン"!

十二時過キ余等ハ奥長ヲ飛ビ出
レリ江奈ハ余ノ寓ニ泊セシテ直チ
翌日宅ニ余等モリ歸家直チ寝ル

(木)日 = 二二
(木)日 =

~~三~~ 三十日(木)
二十九日(木)

例 如ク 午毎卯四時半に休
息 俵ヲ飯ヲ残シバ 日已ニ没ビ余
ナ林ノ下ニテ 歌ヲタル 地固ニ行ク
シ 一生懸命ニ書キテ 見タモハ 久シク
後ニモガルヲレバ 中々ハカドラス 没
シ 路地一片テ 無報酬ニテ書イ
タルヲレバ 實ハ申々以テ 割ニ合ハヌ
鳴ナリト云フテ イヤダト云フ 沢シモ行カズ
俵々コレハ 困リシニナツ 余ハ 余ノ持参ノ
器用ガ 後人ノ 為ニ 利用サルレドモ 後人
ハ只ダ 伊奈ノ 中々 小豚ガ 利リ 器用
ナ奴シテ 而 倒臭ヒコトハ アイワニヤラセル
ト 思イナリ 大柄ニ カマヘラレルカラ
ドモ 割ニ合ハナイ 話しガ子一〇一〇
何モ余ガ 地固引キテ 畫カキテハアル
以テ 馬鹿ニスルモ イカニ 減ガアル
併シ 人間ハ 愛ナシモ 人ノ 養ハコトハ
ドカラカ云ヘバ 大好物デハナイ 吾ナモ
ナリソコデ 余 後ニ 正當ノ 最 術家ガ かん
ダカラ 論評シテ 小器用デ 翻法ナ奴
ト云フ 嗚呼 残念モ 甚シク 哉 余ハ

勤怠ヒツバツガラ 畫ツテニ時ヲ行
リ日ノ果ニツカリテナニ時ヲ遊ビ

(一) 四十一

三十拍(全)

例八通り四時半帰宅夕飯の後ハ林ハ
 儀ヲ以テ應ニテ地圓ヲ引キ娘ハハ
 ハ林氏ハ妻ヲ居セリハ林氏ハ余ハ地
 圓ヲ引ク見物シテ嬉シク笑ラズ
 タリ彼ハ余ニ五天田ノ孔雀ヲ出ス
 ハキ勸定ナルハ娘有ニ友人ノ同トハ云
 ハ彼ハニニ孔雀ハニニテウメ合セ
 付ケルハハハ虫ガヨスギル也日本人
 未ク學術ヲ探シ價直ク知ラズカ
 リ因リテ医者ガ珍貴料ヲモライ
 兼テ医ヲシクルト一般ナラマシ
 七時ハ林ハ帰リ余ハナキ一ハ心ニ書
 信ラセシカ十時頃致ト完成シテ
 マツ一休シテ休息シ十一時頃只
 持テ教書ニ出カケツバツ屋ニ入ラ
 テプツリ酒ヲ飲ケタリ。時シモ
 三人連リ表同ニツバツ屋ニ入り来リ
 一人ハ表キ職人件一人ハ少女一人ハ
 商人体ヲ三人余ヲ見テ有カ
 ヒソク語ルハ妙ツクテ孰中少女ハ
 ナモスバ余ヲ見テ止マシ。此。真ガ

ル哩。ツバヲ食ヒ酒ヲ飲ニテ家ノ
ヲ大ニ揚氣ニナリテ何カ好ク口中ニ
クダラヌ呪文攝ノ唄ノ如キモノヲ
唱ヘナガテ十ニ時寢ニ就リ。

十一月一日(卷)

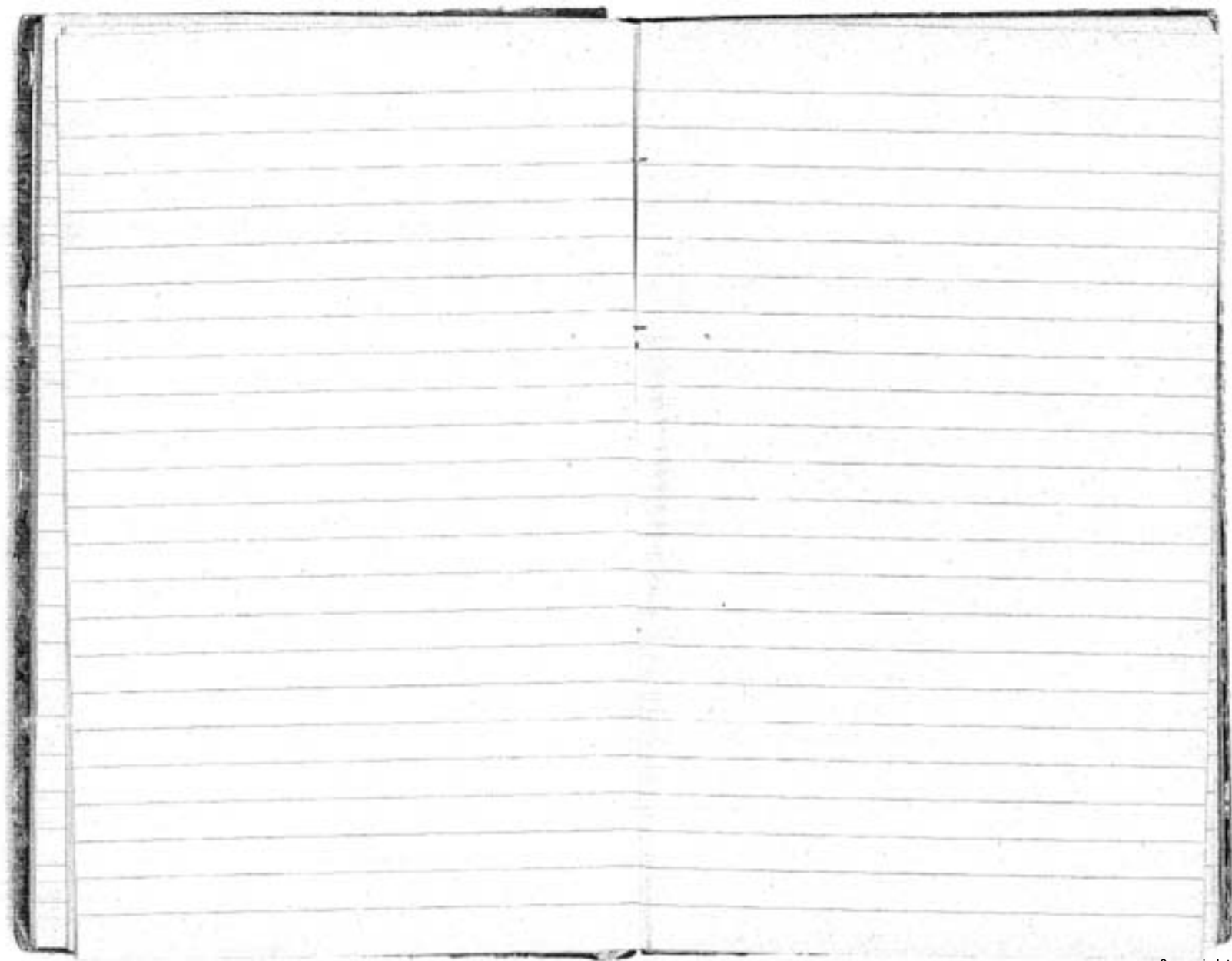
今日ハ土曜日のバカ心中大ニ喜ばシル子
 大層長足の、進んで干筋十一時の運動
 場、弟集セオカ第ハ達ヲ命了奉レ船ヲ
 期以テ限の運動場集ルニ長ハ
 昨午之日午前九時工學大學中庭一同
 集會スルハ先ケテ一同引取ルナセテ
 ゴロイ、押達ニ課業ヲ休テ一同集
 會スル要由ト言フモ、多クアリガコシ加
 藤天則、持知、皇室ヲ辱ツル心ヲ出ル
 コトハハ決シテオロカシ、思フ同教書
 ヲ知ルベシ、勿論後休息シテ大ニ喜
 ブテ、家ヲ持井、余ハ一心子以
 レテ、球ヲマシ、地回ヲ引キ、日暮ヨ、
 兄弟三人、ブルニテ、教書ニ出カケ、池、
 端ノ江、ニマヘテ、行ツテ、一決シ、リヤガ
 テ、同族ニ入ツテ、多ク酒ヲ食ホリ、大ニ
 虫ニ、江ノ島計、又タナド云ル、セテ、
 集メテ、映ロク、兩幕ヲ、催セリ、コノ、當ニ、石
 持、伊藤、兩、醫學生シゲ、ト通フ、ト、
 今夜モ二人、ブルニ、まりテ、長リ、リ、
 ホ、二人ガ、下等、人デモ、コノ、家、下、女ガ

氣にシケル訣デモアルマイが受し用カル
多しへ正服にて押し入るクダラ巻の竹の
片勝痛キコト共カ三人ハコノ店ヲ出
テ、本郷ノ例、ビール家ニ飛ヒ入リケル
ガ三人ハ百ニ獲ルナル様ヲ命、同業ヲ
起リテ先づ喫入リテ飲ムトシケル
四中、ビールヲ化スルヤ余等ハ多ク
醜態ノ氣味シテ家ニリテ居ル也

(12) 13-11-17

十月二日(土)

今日の日曜ト云ヒ好天気ナリ余ハ午前ハ
 小塚ニ依テ預メテハ地圃ニ從事シ午後
 後ヨリ車馬セル新保文佐氏ト足利
 人等々四人ニテ静子ニ出カケタリ
 先ツ是ヲ静子ニ向ケ公同ニシテ諸々
 ・漫ク末ヲテマシ見物シテハソコ迄至ル
 ニ登ラントスニ用業迄期ナリニテ是
 ヲ得スヨリ去リ終ニ日所ノ蠟燭工ニ一
 見セテ其ハ各団ノ名所ナル大油燭
 ニテ静子自ガ子ニテ之ヲ見ル中ニ面白
 人体解剖ハ蠟燭工ニテ中ニ巧妙ナル
 ガ有レモ婦人科ヲ見タル種数多シ
 又特別物ニハ男女ノ種是諸病ノ
 種類アリ他日ハ禁制ナレバ今日ニ限リテ
 大人(他ノ男子ナリ)ニ見セタルガ實ニ真ニ迫
 リタルモノナリ
 四時頃ニテ去リテ鈴木ノ藥内店ニ
 入りテ適宜ニ飲食シ新保氏ハ別々
 家ニ歸ル余等モ下宿ニリヨリ一心不
 亂ニ再ヒ地圃ニ從事シ午後十一
 時終ニシタリ



(四) 九三

三日(月)

天皇御下午八時ヨリ工科大学中庭に
集ル井上銀次郎氏村井モ同行セリ九
時迄井上加藤路長ノ短キ演説ト勅
諭ノ朗読トアリ次ニ重野博士ノ演説
アリ終テ山中健光氏學生臨代ニテ演
説ヲ朗読セリ十時半ニ全區若スニ執
正就氏余ヲ引テ演説一冊万余ニテリル
リ午後二時半頃ヨリ足ヲ三人ニテ園子坂
ヘ行クニ此第1版ヒテ豊碑老翁最
人醜郎メヤクノ大混雑ヲ艾ツテモ
有名ナル仙臺英ヲ見ルニ5分ヨリ次ニ
高倉徳英ヲ見ルガコト又格別ナリ
コレカマワルト勸進帳ニテコレソ園子
坂第一ノ出来ナリ次ニ浅井温泉ノ遊
池又姫モ可ナリト云フベシ三人ハ伊予
ニテカ一盃飲コト思ヒシガ思ヒカヘテ
中ノ帰リ余等ノ家ニカハル余ハ小林
地園ヲ忍ソ畢ルル片ナリ小林原我事ニ以
テ長谷部保次郎ニ来リテ次ニ三時
ヲ許リ小林ノ今日奥カセ柳等ニ臨ミ
カクトラ大酒肆ニツキ去リ帰ル物哉

リクルが中へ愉快+カニまの雑記を8号
西苑去々余等ハ客の運つ+カニ 数号に出
か足才二人を本ノトアルスに屋ニ
上ラ直宜の飲食にイマナガラ睡マシ
汽流ラナス十一時半多しリヨの寝し就ク

五時(月)日三

四(大)日(天)長節

五時帰宅直ぐ山崎橋迄行テ
 事務ヲ相テ直ぐ車ヲ飛シテ湯ニ赴
 可ナル湯ヲ氏ヲ名フニ在リ待ツ
 大月四ナレテハ出リヨラ即チ直ぐ
 新次氏ヲ訪ヒテサテ午迄浴セテ更
 ニ湯ヲ氏ヲ訪ヒニ昔好湯死ニ来
 行シテアツキ存ぬ身ニ付テ行ラズニ
 時頃午ノ余ハ馬車ニ赴キ又一
 寸御供爲ラテ革化ヲシテ九時
 半車ヲ飛シテリヨ迄ニ及ト其ニ又ニ出カ
 ケテト良ノ汁モ屋ニ入リ又。旅亭
 曉ケテ何トク愛テコト余等二人皆
 上ルニ虎ノモクスト笑ヒタルハ何故ナ
 ト笑ハスニ階ハ狹キ四疊ニツ四疊
 ヲリニツ新屋カレテ付ケタリ一カ
 新瓦トハ障子ニ界一カ新瓦トハ
 酒次シト書ケル障子一枚ニテ
 界ニツ中ハ火燈火ナホカニ徳利ニ
 ナト汁モ銘ニ枚アリ男女ガヒリク物
 落リスル声モレ聞ユ余等ハコノ体ニ興
 サテ大ニ果レガナホ聞ケレモナ聞ユ

ルヲ聞クバ男ハ何カアセル風トテ是ヲガタ
ピシト動カス女ノ氣ツイテモガク声ヌルキニ
ゾ毒ヨリ狭キ部屋ナルバ障子ハガクト
振ルヘ出ヌ弱キ家ハミレトユレテ地震カ
ト疑ハレ果ハ男ノ葉キ鼻イキ女ノ泣カカ
女ノ叫フカ女ノ喜ブカ女ノ悲ムカ女ノ何
トモ云ヘヌ五色ノ声モシテ忌マハシキニガ
サクト紙ナドニテアラン揉ム声マデ六尺以
内ノ次ノ間ニテ争ヒルコトヨク廟ノヘケリ。男
ノ声トテ子ニサンイテ云フ。……口出々。
余ハ早々ニ同底ヲ出ヅル底ノ若クハ毒
ヲ撮ト云ヒシ。余ハ丈レク足ト口直ニトテ
ソバヤヘ入リテ多ク飲食ニサシハ時ニ
テ毒リ肥リ寝ル。

五日(水)

四時より先づ見へ新保氏来りつゝアツ
日暮、後ハ林原新氏来ル八日、親
宴會、為ナリ兄ト新保氏、表竹亭、行
キ後ヨリ余ニモ来ナク余ハ用事了終リ
テ表竹亭ト行キテ後、後三節ニ遊ミ
滑臺ニ騎テ覆ヘシ橋ノ助、奏音ニ
親ヲ飛ハシ円宇ノ洒落ニ遊リ舞キ終ル
坐シ居ルニ九時半ハトナリ三人ニテ
天ツラ登リテシカハ飲食シタリ今
日ハ三休氏ノ馳走ナリナリ十一時家ニ
帰リ十一時半寢、就ク

六日(木)

五時起床 袴ヲ脱キ 袴ヲ山崎鐵丸
 氏ノ所ニテ 後受 袴一件ヲ相送リ 家
 2時ハ 早 六時ナリ 日後日ノ大分
 順序及ヒ 漣草標ナドヲ送リ 足
 ト共ニ買ヒ物ニ出カセタリ コレハ 福引ノ
 品ニテ 此ノ所ニ 膝下物 ナド 1ダラヌ
 1ダラヌ ナリ 勿論 靴ノ家ニ立テテ
 大喧嘩 一歩ニテ 我慢ニカレ 中々 我慢
 我慢ニシテ 更ニソバ屋ニ入りテ 多ク
 飲食ニ十時半 帰宅 後 靴ヲ脱キ
 カワナ 一時 色モ教レテ コレハ 此ノ
 有る分、為ニ 生活ニ 有る分、為ニ
 働キ 振ナリ 實ニ 尚モ 何モ 逢フカ 鳴
 ニアラス 鳴ル 呼々々 本トニ 勉強ス
 ル ヒマ ナイ 又 勉強スル 精神ハ 有る分
 有る分、為ニ 運事 奪ハレテ 居ル 叱
 コリヤ コレニテ ハ 居ル 叱

七日(金)

四時半帰宅五時食了終へ日暮草
料正紙車リテ有る毎へ入毎申込
マ次テ服巾箱松氏来リ明日宴
毎ニ同スル折々会ヒササト来ルヲ
控テ一吋石許長谷部係次部氏
毛束の即々矢高の口モリタルハ
鳥味鳴凌ナドエテ茶ヲ飲ニ大ニ泣
テ尤スハ時半疊料、限ナリ歸ル長谷
部ハ余ニエテハ轉學セリ欲スル
道ハシキリ判案得失同フ余
余、思フ所余、候スル所余、知ル所
丈々、豫道ニ工匠共ニ優劣ナ
ケレバ只君、欲スル所ニ任スルコト
スモ亮ハツ十時退キ長谷部歸ル
十一時余ハ豫ニ就テ

四

八日(土)

正午ヨリ場内場外花子者五分五分ヨリ同シ
舞スルニ、五十七名ニ対奉金ハ用分ノ
至者各七名程見テ、此理ヲ止ルニテ、
既ツテ客分ヨリ用キ余ハ短キ演タス以
コト山崎十林ノ長キ演説アリ、次ニ若坂
柳我モ各大ニ述ブルヲ、既ツテ折尺
氏義名等ノ、フ、既ツテ、引、ヨ、僅、コ、
酒ヲ酌、中ノ、盤、等、ト、各、受、付、シ、モ、大
満足セリ、余等ハ、最後ニテ、残、リ、小、奇
麗ナル酌、女、ヲ、相、手、ニ、飲、ミ、カ、ナ、ニ、時
飲、本、成、任、ト、共、リ、ヨ、リ、樽、ニ、飲、ミ、
飲、本、余、一、泊、セ、リ、時、ヲ、ナ、キ、ス、
今日、死、ス、ハ、短、カ、ス

九日(日)

鏡水等八時起き、山へて岩解、
体中に汗が流れて正午に至ると二時
小林字花岩解、休む事話す次で
各坂を大踏をたまり互に作社へ進
事35分〜三時迄は副保氏事話す由り
共ニ新保へ出た園子坂の道窪山へ
出た坂岸より上野まで慢歩しまし
る連鹿のヤブソバを多少飲食す
カ川河を新保にしまり新保氏へお
し見せ共ニ新保河、マイノシニ入リ
テ飲食し再び新保氏事話すヤガ
テ字に知り厚、さるる用へて終
るなり

十日(月)

五時帰宅夕食、後沐浴しヒダ
リに行キツリテ直ヤ原稿、編
纂ツツカフ大ニ時暮ラテ十一時
寝ル也

十一日(火) 晴

五時帰宅菅坂新田部車ルリヤ毎
務ヲサツケツリ行ハ兄ノ不在ナル事
足、執ラテ徳用ニテ醫シモ、ニ取リカフ
タツ、石余モ原稿シラベラナセウ
十時菅坂リヨル余ハ散步ニ出カ
ビルト一車ヲ傾ケテ次々表ニト
シテ當リリヨリサレクウナリテ十一時
半寝ル也

十二日(水)

今日ハ大雨 紐ヲ化整シタルヲ甚シ
氣 毒ヲトシテ 飲ムヲ 純ハス 足トニ
人カレ向ヒヒラ 飲ムヲ 飲ムヲ 一決シ
大食ノ 酒ヲ 飲ムヲ 飲ムヲ 飲ムヲ
シラベニ 従事ニ 換リテ 日ヲ 日ヲ
トセシガ サト 所ノ 氣ニ ナリナリ 半
大雨ノ 音ヲ 聞キナガリ 終ニ 終ニ

十三日(木)

久シクテ 休休ニ 終ルヲ 終ルヲ
好兩人 乘ル 新保ト 足ハ 夜席ニ 出行キ
余ニモ アリキ 乘ル 云フ 即チ 昔 坂ノ 用ヲ
スマセ 余ハ 若竹 亭ヘ 行キ 遊ニ カ出タ
ラシ 滑 橋ニ 腹ヲ 外ニ 九時 半迄
キリ 乘リ 出テ 新保ニ 寄リ 足ト 共ニ
天ノ 下ニ 入リテ 大食ノ 酒ヲ 飲ム
ケタケ 間ト 家ニ 廻リテ 終ニ 終ニ
コト 頃、不 知 強ク ヲソク セ 固ニ
ヤル 年 紙ニ 知 知 此 此 此 此 此 此
コレ ナニガ 安心 ナルモノ。 叱 已レ
不 孝者 ヲガ。

十四日(金)

今日ハ月謝了收ル日ナリ足金ノ才
夜ニ依テ正午金ヲ集メテ欠ル
ニ内セテ事ニ八厘セモ子足ナル
ガニスレキ事内セハ近頃、新ラセ
ハシトシ、帰途後夕急リ平田ヲ行
カトスル中、村井東ル即チ村井トイキ
テお田ニ至ルニ又モ集リテ居クお母
ト新保氏、佐藤ナレドモ、オカメ作リ
「ウシキリ」ト輪廻シナドモ、至
レリ可笑シ、趣ビラキヤッキヤッ行ヒタル
カ九時半ノ量ニ至テ新保氏、地
意ニカシ酒ト「ウシキリ」ニフリツキ
十、一時帰途シテ、籠ニ就キタリ

エヘン

斯の申す伊東忠左、乱心モセズ狂気モ
致サシ 當分月記ハ先ツは預テ致シ
明次=十四年正月二十六日マデノ15年
沖就キ一ニ、必要ナル書柄丈ケラ
簡單ニ記シ致セン
先ツキ一ニ女喜シ事。

辰野博士=、伊東サンノガ一番目
シイト云ハレト

……ノ別嬪ニ「伊東サン、……」ト
叫ビテ抱キ付カレシ事

平田の女ガ出者ニ十三円差テト
云フ大金(書生ニシテ…)ヲ与ル事

正月二十五日米尺惣親等ニシテ
可憐、少女ニ喜ラレ(木ノダマシ)
彼、愛ラシキ手ヲ握ルノ一段等ナリ

弱リレト

十二月末ニ招カレタル筈ト雪
致シテ難戦成ルニココモ空腹ニテ
午ノ入付家ニタリ着キテ
帰程中月市迄トカレテ=困石ナト
寝タリ

面白カレ

正月十四日おひらき始之上京、
途、十又雪路一里三催ル
下

同日那珂橋金=笛下痛飲ル
事カレ

正月 日国分神子院、燈火
正月廿二日工学博士岩友五郎
氏死去

平田幸助肺病=ヲ九州=津免
病後保養

宗兄、新係、平田若茂=同地=
津留第宅、娘達=怒ルシテ
荷=怪ル物ヲ多ク

分ラヌ事

正月廿五日末次祭祝會ニ於テ
小林、服本、争論、栗林、
沈黙

ケカラヌ

同日小林ガ清水トカ云フ義女報
暗室ニツレ出シテ一場、昏則的
惘然ヲ食ル

満是に於て

帰省中父母ノ健康及び父母ノ余ヲ
愛せしむ

山田敏死氏バク余ヲ予と全
力ヲモ得予と予と大ニ益且ツ
尤モ此ノ事ト最大ノ事ト予と
比レ

新中、博見、博子、原中諸氏
おの、おの、おの、各カセラレタ
リ

夏

第一ニ工務全体ノ新年高
ユハ増強 伊吉保ニテ丸田中
等々八十車ノヤリヤリノ解
リ

第二ニ東区 総務部ニテ
甚ク是等ノ解リ

大内表更ノ上ニ付中 夏
江原氏ヲ予と予と大ニ益
同氏等ニ一泊

ソノ他 予と予と予と予と
予と予と

リノ他學ニテハ又新境モ亦多ク
就中夢ハ至極愉快ナルニテ
或ハ舟ニ或ハ燈籠余ハ十々三々
夢ノ為ニ甚難ク忘ルル余ハ早期
の教以ニテ在教ヲ教中ハ
親友を已ラフニ違フ~~ル~~因
却仕レリ
夢ハヒサシ振リニテ撃打カニ
條有ガヤカラニカト境ハル
ハトニカク諸氏ノ用也ノ事
西ラレトシテ治行

大
條

十
條

十
條

1 2 3 = 1 1 1

明治十四年一月廿七日

奉今年位所+後+子地創+正月
 十日ナシ第ハトリモ欲^ニ合^ニ解^ニ
 食^ニ七日、糶^ニ食^ニ加^ニの^ニ
 Lシ^ニマ^ニマ^ニコ^ニソ^ニシ^ニ平^ニ生^ニ
 日^ニ毎^ニ一^ニワ^ニ墨^ニツ^ニシ^ニト^ニハ^ニト^ニ也^ニ矣^ニ
 奉心ハハ時^ニ當^ニ救^ニ四^ニ時^ニ歸^ニ宅^ニ今^ニ日^ニ
 御^ニ使^ニト^ニ家^ニ足^ニト^ニナ^ニリ^ニ来^ニシ^ニト^ニ待^ニツ
 子^ニ抱^ニナ^ニリ^ニ御^ニ使^ニ来^ニリ^ニ道^ニヲ^ニリ^ニカ^ニハ
 ン^ニ言^ニ係^ニ年^ニナ^ニリ^ニト^ニナ^ニリ^ニ由^ニラ^ニコ
 ン^ニ洞^ニ理^ニシ^ニ掛^ニ井^ニト^ニ是^ニ酒^ニヲ^ニ飲^ニム
 田^ニ中^ニ申^ニ山^ニ山^ニ洞^ニト^ニ人^ニナ^ニリ
 耶^ニ所^ニニ^ニ来^ニリ^ニ第^ニ年^ニハ^ニ耶^ニ所^ニノ^ニ孩
 婚^ニニ^ニ現^ニナ^ニリ^ニ色^ニ々^ニナ^ニリ^ニ今^ニカ^ニニ^ニ行
 ハ^ニ只^ニニ^ニヤ^ニク^ニ一^ニ女^ニ嬢^ニト^ニナ^ニリ^ニト^ニナ^ニリ^ニカ
 九^ニ時^ニ過^ニキ^ニト^ニコ^ニノ^ニト^ニニ^ニ言^ニフ^ニ
 ト^ニ机^ニカ^ニニ^ニ想^ニフ^ニト^ニナ^ニリ^ニト^ニナ^ニリ^ニ言^ニフ^ニ
 今^ニ致^ニリ^ニト^ニ言^ニフ^ニト^ニ大^ニ一^ニ座^ニト^ニナ^ニリ^ニ
 三^ニ族^ニト^ニ言^ニフ^ニト^ニ一^ニ時^ニト^ニナ^ニリ^ニ
 24.2

廿九日

幸前：小林、服女、
徳供、
田中、中山、
岡村、宇佐見

有為毎雑誌第十一号附録ニ附
録ト表記セザリニ為ノ録新保電
信局ヨリオドカシラ食ヒケト狼狽セ
ガ小林氏ノ居カテドヤラコヤラ甘ク
テモナガ芝ノ相應コギツケリ又ハ
付キ余ハ五時帰宅六時小林ヨリ
ヒケリ归レハ岡村ヨリル次ヲ田中、中
山、新海山、徳方、海、近頃ロー大
岡野トテ宇佐見モ一寸来リシカケ
归リ田中、中山モ十時帰宅ル余ハ
岡村ト新保ノ平野屋ニ入リテ互
胸襟ヲヒラキテ快談ス余ハ信ヲ信
ニ信ハ余ヲ信ス互ニ信スルヲテ
テヨリ信ニモ為ニ集アリ花アリ以テ
明月東方上リテ一股皮曇リ添フ
テ十ニ時帰宅ニ復ニ就テ家ノ今日
迄ヨリヨリナリ耶珂江原オヨリ夜半

三十日(金)

先明天皇茶ト云フノテ今日休業ナルコ
故余ハ之ハ朝寝セリ即チ午ノ少ナ
クハマテ寝タルコトエラケル余ハ直チニ
沈没、印内お3日講ヒテ宇佐久ノ
ワタシ(シクジツタルヲ録ニオスルナリ)
まじり直チニカス川指ノ谷ノ町ナル田
中苗古部氏ヲ行セヌ其田区林ノ
原町也3畝有シタルガ余ハ久シク
ニテ田舎ノ風景ヲ見タルコトナリ洲
帝ニ愉快ヲ感シ一里許リソウロフキ
廻リタリ鳴呼雑音タル繁花ノ地
ハドーモ宜シクナイ閑静清浄ナル
田舎ガドーモ宜シクカラ地價ハ
ダシトモテス斗リナルベシハ今内
ニヨキ地ヲ立テ、價ヒテ置ケハ
キヤニ4円ハ愚カ數万ノ利モ得
ラルゾアロー、ソレガ山ト云フモノ、
然リ山ノモ田ノモ、ナシテモヨク山田
ヲモ宜シク山田ノ致産ガ甚極宜
シ山田ニ限ルナリ。コトヒテ山田
ト親染ケルモコノ理ニ背クコトナリ

3
5
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

孩果ヲ得テニ、寛ヨリ来ル
知ルバシ九時迄ト内村ヨリ
十時迄ヨリ山田ト余等三人ヲ
家ヲ出テ村井ハ将野ヘ行キ余
ハ山田ト後乘目的ニ就テ迄
シテ、ステア²赴キ村井ヲ待²
十一時ニ迄²ナリテ村井、ステア²来²
山田ハ归宿マ余ハ村井ト痛飲
快²テ²十二時迄キ归²花²
²就²リ今日見²外泊セ²

来客、 江原、 山田、(到)
村井、 内村、
山田(守) 田中、

三十一日(土)

今日ハ嵐降ノ味ハ三ノ朝
露ヲキルヤ抑々今月ハ元日
ヨリ今日マテ晴天ナリキテ一日
モ雨雪ナカシガ今日ヨリヨ木
江木ト雨ヲ出シタリ何サマコノ雨
ハ路日ノ變キ變テ雪トルナモ
知ルヤナリ。余ハ今日朝寝ニ
在モ甚シク尤モ思ハキ夢ヲ見タリ
凡ソ午前七時ヨリ十一時マテ
四時迄申シ見ル夢ハツノ路一万
六千計リソナクナリイテソ
夢ハ凶ナルコト、面白カラマテ言語
同クトマフモノナリトシテ記憶
スベシ十一時至接十二時半
リヨ電氣兩イヨ(烈シニ)家
見ノ歸ルスルハ四時四十四分
発シ、後車ニテお州ニ至リテ
買物アルヨリ余モ彼ノ為ニ日
々移ルマデワザク出カ三時半
リヨ電氣 彼ハ四時出カ余
ハ持井ト共ニ久シブリテ沐浴

東家 掛札の研究
江戸の酒

は積ん振る去りて心地ヨキコト
限ナレ夜食後余ハ本御マテ
見ルニ電報ノカケテ行キヨ
電後オト共ニビールヲ飲ム
テ尤モ有益ナル氣ヲ出サシニ更ニ
ビールノ酒ヲ命ニ余ハ余
ノ日記ヲオキテ案ヲ催フニ
夕十時半酒尽リ余ハ日記ヲフ
ケテハ一生懸命ニ義大丈ヲ
ウナリ散ラヌ十一時半迄ニ就テ
田中ハ精進字ノ書ヲ讀ム
テ通讀セト云フ又彼ハ何ノ
書ニテモ彼ノ所有スルモノハ悉ク
シテ通讀スルヲ云フ妙ナヨキ癖
アリ感心ナ癖モアルモイダナ
掛札ハ余ト二人テ飲ムニ酒
ヲ云フ癖アリ更ラコナル癖モアル
モイダ余ハ酔フト自惚ク嬉シク
冷評スル癖アリ困ツク癖モアル
モイダ見ハ酔フト先掛ヲケテ食
ノ癖アリ嬉モナキ癖モアルモイダ
.....

和装:

打井之祝也

山田鉄之

御供外陽

奥島嘉助

二月一日 卯(日)

今日八日 曜工思切の朝暮に
 廿子=午前一時マテ 疾ハハ
 前代 申間 小ドモセ山田鉄
 我 来訪セシガ 呆呆テ 卓月録ニ
 程コソ アト云ハ 余ハヌカヌ風
 ヲ云々 朝暮ニハアス 書録ノ事ヲ
 ナルニシカバ 流石ノ山田ニ警付
 アキテ 一本マ付タリ 次テ余ハ飯ヲ
 食ヒテ 出外シ 七ツ割リ 平田ノ流
 流ヲ 津保ノ 高木ノ 流ヒテ 金十四円ヲ
 清田 中條ニ ヌラヒセヨ 余ハ疲レ
 シ故車ヲ 取リテ 家ニ 泊リニ 雄ト
 豊國ニ 赴キテ 交カニ 飲良シキニ
 有ルニ 言テ 出タス 二ノ人ノ 同族
 ヲ 出テ 本郷 通リノ 漫歩スル 矢島 御
 供 両方 年 余ヲ 訪フ 筆ヲ 即チ 兩人ト 共
 リ 往ルニ 判テ 出タリ 余ハ 兩方 年ト 共
 ニ 本郷 平野 街ニ 赴キ 痛飲 快活 往
 リ 酒ヲ 飲リテ 終止シ 能ハズ 余ハ 大ニ
 酔ヒ 踉蹌スルニ 家 明リ 大ニ 痛快
 ナリ 十二時 夜 流シ 家ニ 今夜 外 泊ス

二月一日(月)

奉養
実島 幹治
長谷部 深沢
中山 亮
御供 昇陽

148

八時迄にキカガ 昨夜、労働が、
大に精次 疎いッ 芝ッ 余ハ 余、月、膝上
ニ草、小 樹、生、コ、三、落、道、ツ、山、崎
松、死、カ、今、有、有、有、有、二、付、キ、キ、モ
弱、中、柔、ナル、強、云、ヒ、カ、ノ、上、落、シ、ル、コ、ツ
一、極、シ、ル、正、午、実、島、来、ル、彼、ハ、余、ヲ、モ、辱、ス、ル
ヤ、氣、一、人、ヲ、彼、ハ、余、ヲ、尤、モ、辱、敬、ス、ル、モ、
一、人、ナ、リ、ト、知、ル、バ、二、次、ヲ、長、谷、部、原、次
ヲ、氏、事、ク、一、座、雜、當、ク、一、時、再、ヒ、老、者
四、時、事、知、曉、ス、中、山、亮、亮、氏、来、リ、大、に、遇
去、現、在、来、来、ノ、ト、二、付、テ、ウ、迄、沈、沈、即
河、色、身、子、ノ、光、に、及、ブ、御、供、来、ル、家、是
リ、ル、御、供、次、テ、リ、ル、三、人、今、舞、臺、エ、セ
ト、豫、(乳、足、乳、物、コ、ノ、持、集)ヲ、飲、酒、
九、時、足、ハ、山、田、守、弘、言、ハ、去、ト、ア、ト、中
山、ト、余、ト、御、英、兩、子、瓦、兩、色、男、瓦、兩
孝、老、ト、コ、一、兩、俊、傑、イ、付、付、兩、凡、人、互、ニ、セ、ル
ヲ、飲、シ、テ、折、テ、解、テ、出、ル、中、山、ハ、兩、庭、マ、テ
秋、田、ト、云、フ、ツ、木、ニ、落、ル、ヲ、吉、原、ニ、赴、キ、シ、ト
云、フ、彼、ハ、淫、セ、ト、自、云、フ、ト、モ、実、際、也、
何、ア、リ、余、向、テ、隔、ヲ、カ、シ、ア、ル、理、ヲ、知、

ドコレヲハ亦隔別ナリ余モ只一交山
は彼れニテ其ハ是等口強イフルテ去
原登牆セリトアリ余ノ相方ハ輝妍ナル
美人ナリガ余ハ何ト思ヒケレシカカレ而
飲シハノミニテ直ヤレ帰宅セリナリソコデ
人ノ評スル余レ一夜ノ夢コト強ブモ多
ク覺アル天地知レト目ヲ分トト邊
ヲ知ル室山ニ入リナガラ手ヲ空クシテハ
トハ借モ借モアゲキナヤ……………
石ニツクハ 由……ナドト悪口スル人
多シ虽余ハ余ハ心ニ満足スレバ足リ現
ニ中山モ美人ヲ擁シテ寢クカク 分ハ自
ラ遠セズト明言スレモ何ソク有無ヲ
知レシコトヲ評スルハ只信用ニ字ア
ルニナラン 信用ナル哉信用ハ哉 ア……
余能マテ中山ノ信スレバモ亦多ク其ハ余ヲ
信ルナラシ中山ノ信リテ後余ハ信リ已往理ヒ
未來ヲ學ニ捐然、然然、唱聲、欣然、奮然、
ゴタゴタ、ク計、ノベツニ慷慨、一鍾ニテマ
マワレテ十一時ヲ過シタリ。此マ……

(来也) 街供野馬
完島行

二月三日 (水)

今日 = 大組後、試に九時開校の
正午例に鶏卵を食ふ。大望の
少年の案、有る者、好む者、其
一人、身入りの有る、如く人々

既にこの人、得た少、備えの
其の時、此の時、例に、他、生

身入りの、此の時、七の時、被

けり、大望の、此の時、同、此の時、
其の時、大望、此の時、此の時、

此の時、此の時、此の時、
此の時、此の時、此の時、

此の時、此の時、此の時、



来表、振浦電死
完島幹油
御供昇陽

二月四日(水)

八時登校 正午完島来クテ就寝ス
一時再ヒ登校 五時服中ノ病ニ来
日曜日ヲ休ガシテ 尚カレテ 病ヲ
一先ツ归宅シテ 休息ス 伊供昇陽来
又病ニ為リ 七時半ニ 伊供知ル
能ハルニ 女巻ヲ 諸ヒ 欠ルヲ 控テ 面
白シ 山田ヲ 務メ 不在ナルヨリ 再ヒ 女
巻ヲ 務ヒテ 共ニ 堂屋ニ 入リテ 飲食
更ニ 浦卷 酒屋ニ ヲリテ ビールヲ 飲ム
ケ 兩人 大ニ 酔フテ 家ニ 归リ 八時
ニ 十一時ヲ 過キテ 泉見ハ 先ヨリ 山田
家ニ 出テ 居リ 未ダ 宿メス 甚ク
身体ハ 限リ 加ガシテ 陶酔ニ アルマ
ジキガ 業ニ 入リテ 仕カレ

二月五日 大雨(木)

八時半登校十二時半本巻ヲ講ヒテ終
業ノ作文ヲ授ケルハ彼ハ中ノ所ニ行キテ
ヨクスルモノナリソノ案ナリ十年來ガ行キテ
學ガモ、余ハ終ニ後ヲヤテ巳ニ四年半
ヲ行往々ガ行キテ書クアハハ未ダ終
心ニ後ニコトアラスソノ割合ハ余ハ
終ニカ失セト云フベシ何トバ余ハ
朋友ノ多ハ終ニ行キテモナレバナリ
余ハ四時半授キ終リ午代本ハ立テ
等リ終業ノ御供ヲ行ヒテ作文ヲ授ス
余モ中々深切ナルモノナリ併ニ自ら深切
ナリト云フ人ハ深切デハナキモノナリ自ガテ
ハ孝行ト氣が付カズシテ人ニ孝行ト云ハル
人真ニ孝行ナリ自ラエラシト思ハズシテ
世ヨリエラシト云ハル人信ニエラキテ常ト
スバナリ然レハ君ハエライトトンデモ
ナキ場合ニ愛ヲルハ餘リ女喜シカラ
ザルモノト矢ルベシ夫ヨリ事田ヲ務
ヒ内村ヲ務メシセシ頭痛ノ氣味
ニ直ニ車ヲ乘リテ歸電ニ今夜ハ
ヒマナレバ坐敷ノ片ツケニ終リシ

紛失セシ思フモノヲ出来ルシ今ヲテ
行儀ヒ、手紙ナドモ發見セシタリコト
蓋シ余ノ印籠中ニ來リタルヲ又ガ忘レテ
余ニ云ハザリニナリケリ片ツケニ凡ソニ
時半ヲ費ヤシテ紙屑ヲ出スヲ大
凡三斗五升夫ヨリ傍文觀ツツト
ルゲ安達ヶ原、(萱荊)、葦、面白
キ文句ヲ讀ミテ思ハズ時ヲ費ヤシ
フト心付ケハ時已ニ十ニ時ナリ大
アハテ、寢ニ付キ高尚優美ナル
瑞夢ヲ見テ感涙ヲ流セリト云フ
ト可笑シク聞ユルガソノ思フ人が可笑
シト云フ當人がナホ可笑シト或
人が可笑シテ顔シテ評シヌ

二月六日(金)大雨

今日ハ八時ヨリ蒞我アルクセハ八時
過キマテ寢九時半ソト登校セシ
コト新リ登ルニ十時ノ昼休ニ余ハ
山田ヲ行ヒタツコトハ平田ヨリ色々ノ用
アルニ兄ハ平氣ニテドコモカシテ
居ツテ家ニ帰ラス余ハシキリニ食ヲ
採ルモ決シテ余ハ小胆ニハテ
テ情合ニカラスル可ナルベシ兄モ
兄ノ家ニ出テ十七年デハナイガ家
ニ出テ早五日行衛カ知レサト東
テイルダカラ恐ロシ一子支ヨリ服取
テ一オ行ヒ支ヨリ御使局ニ赴キテ
為替金ヲ受取リ再ヒ登校シテ四時
マテ在校今日ハ兄ガヨリ居ルナラント
思テ氣モイソク家ニヨリ決法シテ夕
食ヲ採ルニ未タ帰ラス斯クアハ土曜
日ノ間ニ於テマシ車ヲ飛テ先ツ兄ノ行
衛ヲ揆サン支ルハ山田守54ヲ行フ
ベキカ余兄モ明日ノ責任アリバ今日
ハヨルベキカ必ス今日ハヨルベシトヨト
ヨラ子バ大妻ナリハテ何トシタモト思案

二若しニタルモ已ヲ得サル次弟ナリ
兄モアンマツ人ニ心排ラカケヌガヨカ
ローセ 余モ兄ガ十日ヤ二十日外出
シテ居タツテ何モ心排スルヲハナイガ只
兄ノ酒癖ヲ恐レルナリ兄ハ一々酒
ノ爲ニ大事ヲヒキ起サシ余ハ常ニ心排
シ居ルト矢ルリ玉ツベシヤガテナ排原
死兩ヲ犯シテ来ルコトハ余ハ恐レテ後ヲ
君ハレガ爲ナリ終リテ八日ノ毎ノトヲ
後ルヤガテ兄大ニ酔フテ別ルガ余ハ
手紙ヲ返し長谷部ヘ届ケ與ヒト云ヒ
置キテ再ヒ外出セリ兄ハ斯ク居テ家
族ヤツザルヲ以テ余ハ去年十二月廿七
日以來兄ト三時石ト長ク顔ヲ合セシ
コトハナシヨシ合セテモ兄ハ常ニ大醉セル
故ニシテアリシ事ナドヲ物語リスルヲ
得ズコレ斗リガ何ヨリ悲シナリ嗚呼
余ハ何故ニ今日ハ愚痴ヲ云フヤ？
云フマイ云フマイイクラ云フテモダツナリト
アキラノ小排カ付ルト直ク大雨ヲ犯シテ
先ヲ狩野ヘ行キテ長谷部ノ宿ナ
リ内ヒ車漕シテ同氏ヲ訪ヒタリ

手鏡する件、先に出、律、大に整心の余カ
預唱へ、リ余、構密、大体、先ヶ堅
ク線、口止メセリ、夫レヨリ直々、帰宅シ
休息、後日記、ヲケ始メ、ツト、見レバ
見カ持集セシ、折、説アリ、用、見レバ
コレ、モ、ス、マ、キ、ナ、ウ、身、也、走、皇、用、ノ、ホ
ナ、タ、ハ、一、盃、ハ、ビ、ツ、キ、レ、ア、ジ、鳥
大、見、イ、カ、カ、ガ、ヒ、赤、垣、浮、現、忠、心
藏、シ、ヤ、イ、ケ、レ、ド、ズ、ド、ト、食、ワ、コ、ニ、フ、玉、
茶、ハ、ラ、レ、ウ、カ、ヲ、レ、マ、イ、モ、カ、喉、グ、ビ、
付、キ、ソ、マ、テ、ソ、マ、テ、又、レ、深、ノ、イ、染、ニ、久
松、松、ト、云、フ、字、ハ、同、化、ノ、文、字、ヨ、公、ト
木、ト、差、シ、向、セ、コ、レ、リ、ヤ、ド、ー、シ、マ、モ、飲、マ、ス
ハ、ル、マ、イ、ト、物、ナ、感、覚、ア、リ、シ、三、合、
酒、ヲ、命、ニ、テ、好、耐、ニ、グ、ビ、
ド、見、テ、モ、好、酒、家、ハ、違、フ、ク、モ、デ、ス、ナ、!
追、々、ウ、酒、カ、マ、フ、ツ、集、マ、マ、エ、ン、ン、
下、女、カ、イ、用、テ、坐、敷、ハ、ハ、イ、ヲ、集、マ、マ、
"コ、レ、一、寸、コ、ハ、出、"....."何、ヲ、イ、ハ、シ、マ、ス、"
....."イ、酒、ウ、シ、マ、イ、シ、"....."オ、ホ、....."
妙、ナ、イ、酒、ウ、致、シ、マ、レ、タ、何、ト、ナ、レ、バ、イ、酒、ウ、
ト、云、フ、女、ガ、男、一、盃、ハ、カ、モ、デ、ス、ガ、コ、レ、

男、モノガタ^(中)孟へ4登し^(白)酒ヲフギ^(中)マ
シタ、女ハヒドク^(中)醉セマシテソコヘ倒レマ
シタ……。何ガサテ大変ナ騒ギ本郷
中カ一度ニ騒イデ火事ハ一ツ竹^(中)建
リ水事ガナケ^(中)亦起^(中)ク……。ドーマコーマ
云ハルヌ次才、ビシヨ(ニ退^(中)レホー(ニ
家ヘ外^(中)クツタ者モ多シカヤ、カヤ、加
カヤ^(中)ト打ッ笑^(中)フナンゾハ下サラ子
酒落^(中)ダ子一〇

ソナ酔^(中)酒落^(中)ハサテ置^(中)キマシテ、イコ
段ニ申^(中)上^(中)ケマス^(中)草^(中)草^(中)イモ^(中)ニ
フタヲスル、スル河ノ国、富士山、富
士山ホド登^(中)ッツソ、登^(中)ッツツガ身^(中)因
果、因果^(中)鹿^(中)報^(中)ソグ^(中)来^(中)テ、ソグ^(中)来^(中)テ
カラ床^(中)ノ海、海山^(中)カテ須^(中)原^(中)ノ浦、
浦山^(中)ニ^(中)ジ^(中)ナ^(中)カ^(中)ナ^(中)、ナ^(中)……ナ^(中)ト……
ハ一……何^(中)コ^(中)シ^(中)ヤ^(中)ク^(中)ナ^(中)……、ズ^(中)テ^(中)ン、…
醉^(中)フ^(中)テ^(中)管^(中)マ^(中)ヤ^(中)ナ^(中)ホ^(中)カ^(中)イ、カ^(中)イ
カ^(中)イ^(中)ト^(中)鳴^(中)カ^(中)鳥^(中)余^(中)ハ^(中)鳥^(中)ニ^(中)ル^(中)ス^(中)ク
鳥^(中)ニ^(中)ル^(中)ス^(中)ハ^(中)バ^(中)ナ^(中)又^(中)考^(中)ト^(中)鳴^(中)カ^(中)バ^(中)ナ^(中)
余^(中)ハ^(中)雀^(中)ニ^(中)ル^(中)ス^(中)忠^(中)ト^(中)鳴^(中)カ^(中)バ^(中)ナ^(中)
ア^(中)一^(中)忠^(中)考^(中)、忠^(中)考^(中)、忠^(中)ニ^(中)ル^(中)ス^(中)……

土
七
二月八日 (五)

例如ノ学校例如ノリ田舎五時迄キ
例如ノ村井、オ事務ス因テ昨日ノ身ノ
コトドラズ内山田銀死来リ此ニ4食ヲ
終ル外後夜務ヘ行カト云フテ判
ナリ(出ニ見付ヘリツセムヲ)結果

ナ竹 (尚書) 55
花友 (密女房) 83
又 (ナリ字卷) 50
錦 (續存) 60

錦ハ直打ヤナレ実ニ拙ルテ大ニ閉口
コト加ヒ意味無ク、エビ死ト云フ馬鹿老爺
ガ外ノ奴ヲオシモ引キ立ケズ 田舎込
ニ面白キスし死ヘ行カトセシガ果サス
終ニ面里キ又馬土何ノスレハ上ノ
大ニ飲食ス山田ハ時刻後シニ
不圖学校ヘ別オ井ノ茂川邸ヘ
一泊ス 外資：村井之右衛門
山田銀子

二月八日(日)

七時起キテ朝食之輕ト共ニ八時
千代子ノ事等ニ在リヤガテ東郷ニ
飲米戒酒、十林保、苦味院、山崎
旅、浅見衛、栗球旅、鍋的、下平、
新沢、内村、^{ニテ}ヤガテ倒ノ事説、
磯崎始^{ニテ}見^{ニテ}飲米、甘井、拙者
ハ同復^{ニテ}事説ノ不可^{ニテ}珍説キ山崎
下平、小林、苦味^ハ事説ノ必要^{ニテ}説
新沢ハ^ハ新裏^{ニテ}ソル^ハ何サ^{ニテ}新孝^ハ中
カ^{ニテ}カ^{ニテ}ソ^{ニテ}ア^{ニテ}切^{ニテ}テ^{ニテ}回^{ニテ}ル^{ニテ}世
才家^{ニテ}臨^{ニテ}ヘ^{ニテ}シ^{ニテ}然^{ニテ}今日^ハ彼^ノ所
ニ甘^{ニテ}マ^{ニテ}マ^{ニテ}ツ^{ニテ}ツ^{ニテ}又^{ニテ}栗^{ニテ}球^{ニテ}ニ^テカ^{ニテ}リ
保^ハ山崎^ノツ^ラ食^ハト^云フ^ハ有力^ノ家^ト
ル^ニシ^ハ何^サマ^ノ今日^ノ事^ヲ多^ク知^ルル^ニ
タ^リ余^ハ心中^ニ事^ハ不^平事^ハハ
死^レデ^ルワ^イノ^デハ^所保^ノ鳴^門ト
開^ケバ^ナル^程ト^云フ^ハ洒^落モ^出ル^ガ
ル^ハ松^割デ^事ハ^満足^デテ^ト
家^ニリ^ヨル^時巴^ニ日^暮ト^正午^ノ邊^ヲ
余^ハ直^ニ外^出ヒ^ゲソ^ツテ^大ニ
吾^男ト^直ニ^申黒^ト云^フ男^真家

ニハリテ車身ノ像ヲ寫セリ此ニ交差シ
寫タニ孔違ナシ、ナゼ、ナゼトモ宜シ白。
夫レハ強ク公ニ赴キ内持ヲ居ル不
在ナリ由テ家内ハ日暮ナリオト夕飯
ヲ食ヒ看介ハ行カレタス内田中、中山
西才子来リ共ニ馬車に於テハ、行ハ
キ、即チ即チ越ルニ至リテ寫真
セリ、歸ルニ来リ、其レハ上等下等コ
トナレバ大亂脈、九分道キラハト
酒命ス、兩家ハ十時前リヨル、
余ハオト共ニ對面ニ出カテ一ニ
買物ヲ稱ハ勿電ビレハ心合ニ
メテビレ見及ニ娼婦酒ヲ飲ミ
ルニ大ニ氣ヲフルクニ家ニ歸リテニ此
ニ大ニ中憂見ガマシテ復テ云フ
オハ我儘シテ聞キ居ルモ氣毒ナリ
ニモ足らず中、雲ハハトルマツ世辭
一人ヲ、十二分半ラカ居キテ寢ニ
就ク

二月九日 (月)

今日ハ初係 (昨日 匠子ヨリツク氏ノ
招待シテ 湯島ノ奥長ニ飲ムベキ由
トイハレハ四時字抜ヲ引キ上テ
平田ニ送ルニ初係トホシタツタ
去州ヘ行キテ下ツテ 初係氏ハ
僕ニ行キタリテ帰ラズ、ホカントニテ
大ニ待ツニ初係、山田、ナドモ来リ足
ハ内村ヲサヘ引キツル来リテ終務見
テ六人 (足部三人、内村、初係、山田)ニ
テ七時半迄出テハ初係奥長ニ到ル
タルト大ニ酒モツトナル。是レアビツ
(此レ文法氏ノイフ) 料理サセタリ
酒ハノムク者ハ食フ。竹早返頃ニ
ナイ大愉快、ソノ後ツク六人共ニ
親密ナル朋友トモ談話トモ云ル方
ナリ人誰人。デハナイ……。何ヤラデ
ソレヲ何レモ酒モ好キ、出タリノ酒後
カ始マシタル中ニ 足ノ西濱ガ第一等
デ百点モ、ガエツアルト云フツ面
白シ。お井ガ腹ガイキヨクイト云フ空腹
ヲセハ、マツルモレアナガト抱キ起サセン

フ苦肉計。伊サマジ一子。山田ハ
匠子ノ後ヲ大法螺交フシテサトハ
実ニ一実一興、學ニ及ビ珍シキ
一大盛毎ハ。山田ハ糖ヲ喜ビ!

權兵衛カガタマク云ニ.....

十六シダダ.....

山寺、和尙ヤシガ.....

文ノ上書キ云.....

オドレ。彼は 仙後ノコワロモ
供ヘリ彼ハ中ノ藝人ナリ山田ハ
旧後セシテ出タガヤガテ又リヨ
リ来リテ酒宴ニ陪ニ一同一時迄
押リタリ今夜持テ面白カリシ
内村氏ト云足カ大ニ酔ヒテ見え
外カナラ又ニ山田ヲ奪ビテ踊リ姦
メタルナリケリ余モ酔リニハ無茶
苦茶ニ酔ヒ去リテ山田ト抱キ
アヒテ舞ニシツノ温ナク無頓ナリ
余ハ後ニテ人ニ聞ケバ今夜位ニ寒キ
夜ニカクシ而シテ余カニモコシタリ
ズ酒ノ味カ亦大ニ哉

二月十日 (火)

東へ今口へ宿願して終之學神の休
之十二時マテ 歸りたり余ハ五時
帰宅(ソレマテ 学校) 是ト其ニ新
仔代ヲ待テドモ東ノズルヤ一書ヲ
遣シテ 薩摩公へ押シカケ(是ト其ニ
シ家オト 文先ニ 行キ 薩トニ 志
川所へ行キ 計云フ 余ハ 薩ト 内村
ヲ訪ヒ 明日 返リ 行ク 務ルニ
トスルニ 岩田 乃チ 内村ニ 余ヲ 訪
ハシテ 薩摩公ニ 奉リ 由 岩田ガ
云ヒ 又 余ハ 直ニ 引キ カヘスニ 是ト
内村ト 佐多ト 西宮ニ 張リ ヤガテ
家ヲ 新 保 共ニ 引リ 乘リ 大ニ 一 社トナ
リ 大ニ 強ス 中ガテ 小政ノ 周カト
テ(コノクニ 是ニ 漢井ニ 引リ 勢ト 共ニ 奉リ
南宮ノ 北ニ 引リ 云フ 是 余ハ カノ 道
否) 五人(是分ニ 内村 新保) ニテ 薩
摩ニ 出カケル 新 仔代ニ 奉リ 是ニ 奉
計云フ 小政 行ク ヤノ 内村ハ
余ハ 志川 町ヘ アトハシ 是ニ 奉リ
ト 奉ルニ 余ハ 今朝 平田ヘ 行クニ

Handwritten notes and scribbles on the left page, including some illegible characters and a small diagram or sketch.

トシ+

ハル

ハル

ハル

ハル

トシハ 物服に誇り 君に再と喪川に去
リスルガ故と誓ひ、住家等圃の 暖が
待つ、賛成してスグとグビにキア陶
然として喜ぶ。アークの日は朝
夜にシナケバヨイガ。

二月十一日 (紀元節)

午前四時半 翌日 窓の外 眼の隅から
内側へ 光を注ぎ 内村先生 昨夜 大い 喜居
た 政 以 ち や コノ 旅 の 洋服 相 當 が 十
二 三 度 以後 心得 居 した 云 へ ち け ぬ
今 新 職 務 出 出 出 出 出 出 出 出 出 出 出
服 飾 變 じ 人物 云 大 抵 俗 人 物
奥 行 が 想像 せ ぬ 情 け 好 一 好 一 好 一
ハッパポーン げ げ げ 云 へ ば 云 へ ば 云 へ ば 大
笑 づ け 見 申 さん 云 々 相 負 け 早 急
入 切 だ ぞ 云 々 北 方 云 々 云 々 云 々 云 々
一 層 一 層 一 層 一 層 一 層 一 層 一 層 一 層
一 盃 飲 じ 玉 へ 位 事 事 事 事 事 事 事 事 事
ドモ 困 づ け 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々
然 後 之 礼 節 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々
十 成 衣 食 が 是 故 俗 人 礼 節 云 々
願 心 遣 が 是 故 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々
万 二 十 五 月 月 給 取 り 云 々 云 々 云 々 云 々
卑 劣 ナ 一 出 出 出 出 出 出 出 出 出 出
相 手 仕 事 内 村 ハッパ 先生 ドー ー ー
グ ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン ン
少 し ち 脛 位置 云 々 云 々 云 々 云 々 云 々

44
A
...
...
...
...
...
...

達ッペラ先生、北トキ申奉ルハ政
どんとして昔い出者、云ヒナツケ、女房今ハ
ムツヤツ、細君身、犬ケガ土尺ニサト東
テ内尻廻リガ一丈ネリ。ムツクト肌ノ
肉ヅキ、サツク水気モタツアリアラン、達先
生ハ好敵手、夜毎合鬪、根太ヲ
折リ、ランアヲ倒シ。一雉シ白波、尚愉快
匠頭、失敗隊シタ。内村ハ夫婦連ニ
テ行カントスルニヨリ余ハ大ニ失望シタ
内村、達先生。五月トクエル時ナ
ニツケル、鎖ヲ大層ラシ、ブラサヨ、頭ニ
黒、高帽子ヲ後ガマニ冠リ、町内ケン
道シ。下ハフ子ハ、イヤツコ、無謀
フニ、御ニ、存、御子ハヨケレド、存、御ヲキヌ
ハ、無、御ナラシト。云ハレテ、彼ハ、方、コマ
リ、余ハ、存、御ハ、モタスト、云ヒ、是、暮、レ、ナリ。
彼ハ、又、平田ハ、見、御、御、物、ヲ、モ、持、参、
セヌハ、奇、奇、ナリ。ニ、十、五、内、ハ、ニ、十、五、内、丈
ケニ、羊、羔、ノ、一、ツ、モ、モ、フ、ア、行、リ、ベ、キ、モ、ナ、リ
ズヤ、丈、ガ、間、接、ケ、ナ、レ、バ、女、房、モ、気、カ、カ、ズ
イ、ス、タ、モ、丈、婦、ト、ハ、マ、...、ヨ、ク、モ、ヨ、ク、...
モ、イ、ダ、ナ、...、ナ、...

一多岐亭にて難の鐘屋辰全ハ夫婦
蒙内若トテラ若クオセヨ久サ物ヲセ
ステ一泊ノ茶屋ニテ昼飲、牛鍋ヲ食フ
余ガリテ後トテハ三橋ニテ三四ノ肴ヲ
命シ、妙ヤノ相争ニニ合キ、酒ヲ命シ
程ヨク酔フテ湯ニハイツ妙ヤニ、脊ハ腹
ト……トテ流シテモイ三十分程休息
テ二十銭ノ茶代ヲ拂ヒ得、然トシテ出
テ行キタランモ、匣子ヨリ葉山ノ政
子ノ前ハ喜ニカセ、車代ノモケントテ往
向シ、ヨヤク日蔭、茶屋ニ着シテ車ヲ
ラキ、判高クシバヨクアタリ、久廻セバ思
ヒシハ半分モ行カズ、下女モ娘モ至テ
静ナルハコレ余等、一行ニ驚キレ故ル
ニシ。何ヲ驚クモノガアルモカ……？
御供ニ逢ニぬ母ニ逢ヒ、娘ニ逢ヒ。
鐘屋ノ回ニテ大当リヲ取ル。お母ノ
命ニ従テ。蘇カレ。トランフ。ナド、お母
出ル。井上、下條子、雄等車ヲ。
ソノ内文ハ、佐倉兩人来テ。お
子、お出カ、ドサ。下女モ、
混乱ノ仲間入レバ、ヨク何ト思フ

タカニナア障子ノスキマカク 見テ是ル半ヲ
進ニ来リテ 夫カ打ヤスルモナシ。夕食ニ
ナリウとくさんト云フ 別女房デモナイガマ
十人并ニ近中女長 給仕ス。ダカ子ツカ
面白ク流ニ出ス。六時ナリ政子ドレ
归ル归ルト 叫ビテ止マス。是ニ三人
归運ニ就ク 匣子ノステーシヨニテ
一時居、待カハ大開口、ビール屋
へ行ケハ 連ヤケハ女房ノ心オホク。
他早ノ大不整成。寒キ思ヒテ
義京好車ヲ取リテ了後夕飯ヘ一泊。
伊サマ女ナドノ 睡イ マツセヨク後。
以来女トハ 旅カマシ(自ヤノ女房ノ外)
以来下ラヌ男トハ 旅カマシ(義京外)
内村史女房ハ 笑ツウヲ棚(四ノ住)
下等人物ト見エ女房ガ亭主ニ向テ
顔ニ方等ナリ云フ 驚スバツ。 15
時ドレニ 上リト云ニ 未タ乗車ノ言
テ 通セシ 1ヶ月復イタキ外 甚多シ。
ア内村連ヤケノ 君モモ一丈シテ
デシ。ニ十五日デ 一生ノ暮シタル
ト思ヘバ 涙カハテ くく。

二月十二日 (木) 曇り

今朝ハ吾々日ハ午前十時ニテ朝練
兼登録ヲナシニ時昼食ニ平田
ニテツクニ時車ヲト其ノ内持
テ三ツ四時内持リルニ右セモヨ
ル余ハ晩飯ノ馳走ニ後、彼レ
表シ余ニ〃昨日ハ内蔭ヲ鎌倉ヲ
見物セリ向モイガー孟ヤリテ行カ
度シト云ハバエラキ人ナレト彼ハ
ナシモ云ハザリシ彼ハ交テ繁ヲ知
ラヌモノナリ 彼ハ世ノ中ヲ知ラヌモノ
ナリ 彼ハ一里ニ十五田ナルベシ
ニ内路トシモ一里ニ十五田ノ北
ノ方ナルベシ七時内持ヲ法辛シ
余ハ後友軒ニト辭去リヌルガ
ニ至ルニ九時 歸宅シ十一時マテ
飯持テ 湯ノ空腹ニヘツバ巻ヘ
カケルニ後解シテ家ニヨリ十二
時終ル

二月十三日 (金)

八時半一筆校土時初夜山田
飯食と来心と区子とヤツ
エビと食七酒と飲六時の夜
席園中に出カケツリ(若川へ)

小竹 45-

御化紫 65-

花友 85-

归途之浦尾ニテ大ニ飲スル
人程カ解ツテ归地ニ了ス
同家ス見ハ外泊セリ

二月十四日(土)

九時迄接一時リ帰原稿之
義毎三時二朝正既出来
リ二時迄集リテ五時
迄キ外帰リ原稿、小林、来
ヤカ田中、中山、山田来ル、
後ノ三人ハ余等カハヤシク各
所ニ於テテテ見テ早ニリ
リタルモ、毎朝九時小林、
鈴木、金ハナリ等家出
カケ既ニ江知勝揚コ上リテ
雨降、更ヒ粟風々、陽々トシテ家
リヨリ接ニテシ(正午田切来ル)
来炭、 田中、山田、
小林、鈴木、
原稿、鈴木、
二朝正既
田中、山田、
中山、山田、
山田、山田、

東鑑
不其法也

十五日(日)

九時にて夜十時に書室より出づ有る
と書折亭にて書室より出づ有る
ハア長席にて就きて就きてスル中
鏡才成作余に代りて余が終
統、大事の能くスミト思ヒタル者ヤ
解せしと云は余のこの終統せしが余
鏡才の甘きヤリ得ける惜と哉
余ハア云つた場合に沈黙の過キテ
種、愛嬌の又々機轉ナキが如く見
ルヲノ。併し余ハドーテモアノ終統ハ
余自甘キヤラント思フ。ソナリて此
子ノ年、おへん様ナモノハ此年ニ
云フツ止ムバ。終統ハハケルキハ
言うて同形集解後、終統思ヒタル
六時、おへん様余ハ車ヲ飛シテ江
原ヲ行フに兄弟ガヤテ在リ三人ニテ
飲飲、飲飲ガ足ト江原ハカリニ
遊廊、愉快ヲ受ル。是ハ、忠告、
身前ヤ如何ハシケドモ...!ナド云フ
所可成ラシ。余ハ釋ヲキカテ家
ニ歸リタルが酔氣ニテ何モ手ニカ

ズ。何カカカモカラス十一時半に
眼ヲ覚ラカシタ。思ヒ出シタ眼
ニテ。余ハ今夜大夢ヲ見ル所
ヲガリナリ。果セル哉見ハ今夜江
手ト北ノ方ヘ行キタルヨシ。ア
北ナイ北ナイ。ト云セタイガ北
ダヨ北
ダ。余ハ宿ニアリテ皆見、南
ダ
ローアハ……。弟ト下ラナイ棟
椽
テシガシテ見タナ。人間ハド
モ
小見ラレイ所ガ面白。イヤ
大人
ガ
ルハドモ面白ナイ。ナレ
テモ洗濯
ニ小見ラレシ。ソレテ大人
ラレイ。妙
シ
カラカスガ宜シイ。モ一
夕
モ云ハ
ズ
……。

二月十六日 (月)

八時半登校 昨来夜アルト
 手ダ子引テ待テドモ建モ来ラズ。何
 ついハ解ラテ日記ヲフタ大失策。九時
 頃 佐々木 宗司 即氏 余ヲ牽テ 湯子
 川。余ハ已ニ得カニニ由テ 休校シ大
 ニ奔走スル所アリテ 其ノリテ 足ノ
 財 鹿ノシバ 医科大學ニ 赴キテ 兄
 任所ニ 出バシテ 思ハズ 婦人科産
 科ノ現場ニ 踏ミ込ミ 思ハヌモ 見タ
 ナゾハ ドモ 怪シカラン。余ハま
 コリ 車ヲ 飛シテ 江原ヲ 行ケル 彼ハ
 昨夜 来未ヨラス ト 彼ノ 妾 只
 子ノ 怪シ 物ノ 本ノ ヒロゲテ フサキ
 飛リタルモ 可笑シ。余ハ 後夕ニ
 五時ヨリ 十二時 帰宅 完島 来ル
 一時 又ヨリ 登校 其時 又 帰宅
 ス 毎九時 来ル ヤガテヨシ
 小林 宗記、鈴木 茂樹、北野 アキ
 儿ヲ 登スベシ 旨カラン、エト 斗フ
 ヤガテ 鈴木、小林、ヨシ、田中、中山
 来ル 那阿 一件ノ 怪シク スト云フ。

親
富野了助
小林源次
鈴木茂作
田中菊左下
中山長三
清水英夫

余の兄は田中、中山、別。親係何
に用は是。江戸に居る不在に
長兄は筆、カテ余善、好、久
寫、帳、に、以、て、即、所、に、行、つ、時
已、九、時、半、に、余、ハ、即、チ、彼、女
房、に、會、つ、彼、女、年、二十、差、負、ハ、
或、人、ハ、八、十、点、ト、云、フ、長、兄、ハ、六
十、点、ト、云、フ、其、所、に、居、ル、ハ、ズ、
フ、ク、ダ、煮
エ、テ、一、升、余、酒、ヲ、飲、ミ、十、二、時、迄、
リ、リ、テ、當、レ、テ、カ、カ、イ、女、房、ハ、ウ、レ、
ハ、イ、テ、引、キ、長、兄、に、抱、キ、テ、出、
ル、キ、余、ハ、ハ、ビ、オ、ル、ガ、レ、フ、ガ、マ、
bessor、ト、云、フ、大、差、九、十、。悔、ハ、バ、中
の、ま、婦、。夫、ハ、女、房、ハ、為、レ、知、ル、長、ハ、ツ、カ、
リ、ト、云、フ、也、。女、房、ハ、ま、つ、信、レ、置、テ、
他、日、ビ、ト、イ、且、次、ト、云、フ、ヲ、玉、言、
、ツ、ヤ、中、ノ、浮、世、じ、テ、居、ル、ワ、イ、

十七日(火)

例の経費五時の電不夫の
有る等就は、編輯の從事する中
向例の各及、珍味酒、家モナ
ニソ大に作画の編輯に熱心
タルが、何ガサヲ酒ガナレバ甘行カ
又ト云フは、厄介ナク三合ハ酒
ソテ好解のグドトナガ編
輯のヤル毎にナガ編のイナモナ
ハシウ、終リテ余ハナモテ無キハ
夜に就カトスル茶イロハニホトホ
ホロトホロト出セリ併シホロ
絹布、ホロトホ綿、ホロトハナキ
故實レロモ悪シラス、休裁モフ
カラス、ホロガ木綿、ホロデアツク
玉へ。欠カハ、紙屑、耳、斗、ガ
ロ一。嗚呼、氣風ハ高、尚、スレ
優、良、スレ。何デモ、氣骨ガ
善カ、氣骨ナキ、骨子ナキ

10.5.1 +

十日(水)?

今日も例の如く登壇お祭り
電の例の如く例の如くイサ...
例の如く原稿をダブルの時子、
タフコトハ矢ノ如く併レソ原
稿、中現行モアルバ元妓モリ
又又妓嬢モリ又ハゲンコウモリ
ゴト云フ片雉子ニ似レト云フ
片鳥ニ似タリ。コレハ鳥ニ縁ガル
ソノ鳥ニ思ヒ出シタリ鳥ハトリ即チ
trinken、意通ス。トリノナル哉
トリナル哉 トリトリ...ト云ハバ
或ハ昔ニ似タリ云フ人アリ乎...
十一時ニ至リ空腹ニ世ハザレバ
草馬号ソバ系ヘカケニ余空
腹ヲ酒ニテ充タレタリ十二時帰宅
飲ンダ酒モイツリカ吐キ出シテ
寝ニテタリ。今夜ハ中々安心
ニ愉快ニソレテ面白ク存タリ。
今夜ノ夢モ亦リ偶然ワラス
ハ可ク

二十日 (木) 三條内大臣薨

萩: 小林源光
田中重光
中山義隆
山岡元信
即所

十九日(木) 三條内大臣薨
登校例) 如ク然リ四時半服
本ツカフ多シヨリテ 味後ニハ
持来ル 味後食シ 終リテ 余ハ
直ニ 酸梅汁ニ 赴キテ 用 遣シ
次ヲホ川河ニ 至ル 家ニ 月ヲト
セシガ 途中 本郷ノ 平野 有リ
ツキトマリ 大ニ 飲食ス 醉 舞
筈 四五人ツル 大醉 出 余ニ
トク トクダラ 卷キカケル 余ハ トツ合
ハ 又 風ニ 塵 舞 出ル 余ニ 可笑シ 余
ハ 十二時 微 醉シテ 歸ル 本日
ハ 田中、中山、即所、山岡 等 来
訪ル 由 中ノ 盛 事 十九日 止
持 此ハ 宿 醉シテ 元 氣 ナ 即
所ハ 直 徳 宗 了 此 田中、中山
等 之 醉 山岡ハ 慶 情 舞 踊
ハ ナド 似ヤハシカラ 又 終 舞 舞
却テ 興 ヲ 失フ 矢ニ 余ハ
十 二時 止 月 暮リ 終 舞 中
也

(五)日十一

二十日(金)(休)

如向の林日(三時迄)為十
 云々余も是(十一時)迄カ
 テ撥り余ハ獲ル管ツイツメ、
 夜ハ短クテ女貞チ夢ニ事バサ
 ムルタル今日ハ端カ長キ夜ノ
 山鳥尾ノ裏シキ長キ夢見レ樂
 レサハナレホーロハ言ハレマジ。
 アナハヅカシキ...。何ガハヅカレ
 ヤラ...。アハ...。君モ中々馬
 鹿ウ云子。然リ君子素コク馬
 鹿ウ云子。おハ云ハバ君ノ濫ス。
 オハク支シテシキモ打テ渡カリ。
 一ツ事見ル。区役ウテスナ
 ンラ田村ヲ見テ、乃ヒ田山
 真光氏ニ逢ヒ、此ニ於テ到余
 平田毎時電ヲ送テ書扱
 点檢シテ時々電ヲ山田
 弘兼リテ、中山亦兼リ山
 林ヲ兼リテ、此ニ於テ、イロ
 色百ノ中山ノ如ク、ハツケ
 内自レ...。

本日事終ハ
中山敷屋

小林好房

山田弘等

三人ハ山田、小林、早川也

外ハ中山好一人ハ物也

有量ガ力トシガカ流流出テ

既也(極十十時中山ノ

ハ家ハ更ニ酒ヲ命ジ十二時

後ニ此ノ日一 余ニ酒ヲ

女子ニ哉ノ酒ヲ好ム哉

二月十一日(土) X

八時起キ九時至授正午帰宅ス余ハ芝
ツ一軒車出テ一寸後ク久ニ立テ寄リ
テ夫レツ神保町ニ赴キ次ニ中條氏ノ
坊ヲ中條氏ト余ト見サレテ五年ハ三ツ
テ互ニ珍ラシク遊ソモ興アリニ時百廿
リテ遊ソ決シテ中村喝天居士ヲ訪フ
喝天ハ毎朝啼スル如ク一箇ノ奇人ニテ中
ノ流セル男ヲ遊ソ過キル位ニドモ
持テ歸スルヲ怪ノ奴ナリ余ハ彼ト存
蓄ムニ至リテシテ遊ソナシ夕餐ニツツナ
其ニ對シテ出カケタリ余ハ真水ヲ訪ヒテ
シオルレ一ノ氏ノ著カク倍リ再ヒ神保
町ニ赴キ帰宅ニツキタリコハニ有レガ
東ヲ待ル人ナラシト思ヒタバナリ余ハ急キ
テ水邊ヲ行ニ一人ノ車夫・余ノ
傍ニ乘リテ合乘ル如ク乗リテツツ余ハ好
ナリニ合乘ト云ハルガ怪シク余ハ前後
左ホテ顧ヒテ各々後ニ一人ノ婦人アリ
リ被中ニテヨクハ分ラズドモツノ妙齡ヲ
ルヲ知ルベシツノ醜婦トガザルヲ知ル
ベシ余ハ向テ妙ナ者トシ興ニ足早ニ

行ケバ少女足早に付喜ん人カ車夫
モ早に「は合衆リデ」ト勸ムル男に
他、女ハ只若クアラズ。余沐ハルニ淋ス
ンハ必ス余ニ禍トテ歎ルモカ。然ラズ
ハ余ニ戯フイモ乎。ト二角ニ少女ニ臨ミ
遊ハルハ餘リ面白カラヌト矢ルル可シ。
家ニ別居シテ之ニ遊ス其ラズ足モ長ク
又笑チ他ハ匿子ヘ行キテハハナリカ
余ハ行リ原路ヲミラベ又日本物ヲ
一葉ヲ足リ讀ミ流ルニ面白ク感シタリヤ
マニ但面白キコトハ殆ト稀ナリ余ハ
殆リ喜ビテ笑ハルモ可笑シ思ハズ十
八冊ヲ讀ミ思ハル時已ニ十一時ヲ
過キタリ即チ大ニ睡ニ就キタリ

二月二十二日 (日)

九時半起キテ室ヲ掃除ス昨夜
 勿活及之端キタルヲ今日ハサシ
 頭重キ様ナリ第ハ出ル一ツ氏ノ書ヲ
 讀ミ如ハハ井岡村路ヲ氏事ハ氏
 ハ日ニ於テオ子ニナリ今日ハ和表ニ
 ハ第ハ頭重キガ甚ニ余ハ彼レ痛
 ニ難カシヲ。ア。人間ハ身体健康
 ナハ神入マ健康ニテ事ヲ成ル。シ
 身体健康ナラサレバ氣力無クテ莫
 クダラスモノナリ。正午岡村路ニ余ハ
 歸リ出ル一ツ氏ノ表紙ヲ讀ミ
 大ニ得ルアリ三時ヨリ後ヨリ
 至リテ今日ハ歸リ出ルナリ待ツ
 彼女ハ月ヲステマツナリ而シテ氣
 トニ枕ト共ニ余ヲ誘ヘシハ供
 陽ガモ今ハ匣子ヨリ来リツク
 管ニテラ聲ヲスルニ時ヲ午
 余等三人ト供トハ吉川河
 ハ赴キテ供氏ト共ニ土氣ハ
 七匹ノ煮、一升ノ酒ヲ大
 飲ス。今日ハ申ニ橋ヲ

リシツ。已ニテイ共日印リアハ弟
又三人ニテ又ル醉ヒテ更ヒガ終ニ
三人トモニ樽ヨク酌ヒテ中全ハ
オモク醉ヒタハカハリ印トヘお標
掲ラウツタリ。十二時迄ニ就キ
テマクモーゾー 4 樽カ標ノ表出
ゴタマゼノ 樽ヲ欠リ。祝事居
キ目ヲ醒ニテニタカニ水ヲ飲ミ
タルヲ 寤醉ヲ欠ルハ幸甚

二月二十三日(月)

例) 朝リ登校五時帰宅 今朝の
手田、叔母の家へ来た後夕
夕に赴き、ソバ、餅を食ふに
モリ、又ハ、南口セリ、余ハ山田守松
カ見、待テ居、73 先ハ、カハ、見ハ
家、川、余ハ、那、御、供、4 級、上、其
ニ、夜、那、(カ、川、岸) へ、赴、カ、レ、73 決、
意、出、タル、ガ、4 級、氏、ハ、逃、ゲ、リ、
15 級、氏、モ、ア、マ、ッ、造、又、風、好、夜、那、
ナ、レ、ビ、心、尼、ハ、入、リ、テ、タ、カ、飲、ム、
デ、7 級、菓、子、ヲ、買、リ、又、ニ、送、ル、リ、
テ、飲、ム、好、ム、イ、ロ、ハ、物、ノ、名、ノ、
セ、ア、ド、ケ、ナ、リ、テ、可、信、ス、シ、余、ハ、餘、リ
タル、コ、ラ、ン、ヲ、提、テ、家、ニ、リ、
帰、ル、

東条 山田 鉄丸

二月二十四日(水)

例1如ク五時帰宅夕食ノ後
19分ニ一才五ヤコソカ川亭へ赴シ
又ニ後シテ来ル

草丈 80

嫩丈 90

足野丈 88

足野丈 60

桐子丈 83

ナリヨ守 赤野 宛へ入りテ飲ム所出
西山ノ隅川ノ物田ナド車ヲテ馬後
行レセリ。是ハ山田守ヨリノ関係
ヲ記シテ大ニ詳白スル所ナリ。ソ
weit 集ニ最 皇 苑 成 スベキナリ
ナリヤ云々ノ酒ニヤ。所ニ家ニ行
リテ直ニ指シ付リ。時ニ十ニ時ナリ
多量ノ水ヲ飲テ寤解ス。ゾゲリ

二十五日(水)

八時起キ八時半定ト其陣3段ニ
テ一ツ指ニ社ト乙集ス、葬ラ兒ニ
九時五十分ハ次葬列集ニ中ニ
立派ナリ行列ハ長ク一里ニ好ヒ見物
一人毎ニ十百ニ掛ヘクルナニ 归途
孩々名ニ立テ寄ル 打ニモ十ニ時3寄ル
ス叔母ハ飯モ食フヲ行カヨト云フ
カ思ヒニ何トモ云ハスワト見等ニ飯
食ハセ娘ヲ余ハ歸シテ別室味ニ
御役ト大塚ニ長リ兩人ハ飯食ハシテ
归リ去リ兩人ニ余ハ何モイガク飯食
ハ上リナサヌカトモ何トモ云ハスニ余
思キガクニシタリ余ハ吉川町モテ飯食ニ
归ルモワマク又村松歸亭へ入リ西陣
新居ニ此カ飯食ヒニ一軒ニ飯食
多敷、錢ヲ掃ヒタリコノ家ハ大
番清シテ手廣ク心地ヨク飯食ヲ得
タリ本日ハイフニナリ天氣モヨク風モナ
ク睡ハ穴カ遠ト出ニサラナ日無ナリ余
ハ無暗ニ心地ヨク又ヨリ孩々名ノ
大塚ニ同ヒテ飯食ニ傍リタル食ヲカヘシ

来客

雪村 誠江
山崎 虎三郎
尾崎 虎三郎
中山 喜久

日向ボリスとトエ十のこり家りり
ハ山崎、雪村兩人来る者多、乃
ヤガテ、尾崎、尾崎、尾崎、尾崎、
君状ヲ送ル。機ヤガテ、尾崎、尾崎、
流スルトキ、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
全、小、小、小、小、小、小、小、小、
マ、マ、マ、マ、マ、マ、マ、マ、マ、マ、
カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、
中山、中山、中山、中山、中山、中山、
如、如、如、如、如、如、如、如、如、如、
腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、
中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、
腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、
中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、

二十三日(木)

例ノ通り午の五時の電車で
終ノオキニ行クニ草履中
抱テマフキモ、アル故コト去リ代
リ入ルト食テ第一矢型ニ三行ノ
視テ行ノ草ニタリ第八時車車ヲ飛
ビテ表神像何ニ送リ加藤足トテ
系カシ三浦地ニ入ルニ、ア任ハ
酒ヲ飲酒ガク飲シヒモ、食ヒ
ニ人微降ルニ同底ノ出テモ、的
ヲ愛シ途中、歌原ノ画ヲ見テ肝胆
ニ胆ジカク家ニ行ケ一存ヒモ、
大考ヲ食テ然ルニ終リシ。
一ツ同クハ本月ハ祝儀、来月三日
ナリハ出来ト云フコトナリ。

二十七日(金)

何れか五時帰宅スルニ頭痛烈
シヲ持病、喉喉カクルヲ感シテハ
矢度、打テ臥シテ見ハセ、時頃果
ル山田モ来リ酒高ニナル余ニ酒ヲ用
牛乳ニシテ心地ヲ操テ山田ハヤガテ

夕暮ル...

城ノ内...

等ヲ遊ルノ足、傍邊ニ中ニ面白シ事
ハ、ハルソーヲ服用シテ善ニ治シ

二十八日 (土)

午日ハ昨日日ロクニ熱烈シ朝不復
銀の向ニ見ハ午時運子へト出立セリ
余ハ足弱ヲ疑ヒ昂ケテ臥シタルガ
今日ハ一夜ニ食トラズ足ケシ麴包
ヲ食ハリ午時振巾ハ林某ルハ
今迄アツク日暮田中南左郎某ル
彼ハ今日午時川上崎へ行居セリト云
トガテ田中月心余ハザルヤ一ト
カレルト服シ寝シ

三月一日 (月)

今日ハ日曜ナレバ何ソ其ノ甲斐アラニヤ
余ハ日曜ナリトモ今日ハ床上ニ寝ルセガ
ルバカヲザルベケレバナリ。然リ、*ja, oui* / ソーテス、オヒー、(コレハ、
テントノ語ナリ) オヒマーソート洒落ル
ノハ先ヅ見合シテ呉レ玉ヘ頼ムカラ。
今日カラ昨日ガ面目ヲ改メマスカラソ
ノハ種デハ願フヤイナセテ今日カライン
テ書ク氣ナツタカラ子。オヤ(イソキンテ
モ書ク氣ナツタカ。何ヲ云フテヤガ
ンダイ。然テハ前今ソー云フタビ
ナカ。ソーカヨソソラソーレ置キ玉ヘ
ウルサ仔一。ハ前コソ。自分コソ。コソ
くくと逃ゲ去ルハ卑怯未練ハ大将
オワカリ、マ、置クベキト大身鎧ヲ打
ツテ追カケオツツ取ツトスレバ。カゲ
ローイツマ。水ノカゲカーヤ——。
熊坂ノ来タ子。イヤルハ熊坂閉口致
シタ。ヘン丈デモ洒落ノ績ヲカ。已レ
又タソノモノア熊坂洒落ニモナル
ジナイカト思フヨ。コレ洒落双方六十点ナリ。

午後山田宇弘 芝と来り 眠りて 掛井の
亦来り山田ハ 歸り 余ハ 掛井ガ 来レリ
見テ 大ニ 喜ビタリ 余ハ 淋シク 宿
テ 居ル 所 朋友モ 皆ト 思フキハ 生計
朋友ハ 来ラス 伊佐中矢島モ 余ガ 病ニ
共ニ 居ル 所 朝 知リテ 見舞ガ
テラニ 来ラスモ 妙ナリヨシク 伊モ 愚疾ハ
云ハシ 只タ 安眠スベキナリ 子ムラシ
ルニ 子ムラシ 子ハ 宿ヲ 不事ヲ 抱キタル
おナリシナリ 余ハ 三杯ト 酒ヲ 飲シ 夜
入リテ ビールヲ 飲ミ 三杯ト 干物、
ワカサギヲ ナド 珍味ヲ 食フ 十ガテ 家
見ヨリ 来ルニ 山田 山田 歸ル 芝
ハ 別に 土産トシテ 好境ハ 木ヲ 餅ツ
レハ 遣贈ス 余ハ 酒 四合ヲ 命ジ
余ト 對シ 名ニ 呼ビテ 命ジ 余ハ
鏡食シテ 十二時 鐘ニ 就テ 家見 伊モ
万雷ノ 聲ニ 驚カレシ 子ハ 子ムラシ
トテ 不事ナリ

三月二日(月) X

早朝三浦宛ト云フ例ノナシニシテ、
 亭主イサ宿六来リテビシ、空ヲ買ヒ
 一月十或ニ重ヲ拂ヒテモ帰リソノ中ニ
 三本行キ余ガ股ヨリ遠リタル水ヲ貯
 ハタルモ、アリモ、行ハル常ノ水ト思ヒ
 可笑シ只タ控ヘルソノ水ヲ屋根ヘソギ
 登テントテ、口ヲ用ケバ、一種、瑞香都
 マトシテ、満セニカホリ、紫雲、タビキ、湯
 タル、景色ハ直キ、余ガ仙骨アルヲ表シ
 タリ、正午、医校シテ、見ル、バ、宇佐、大、め
 氏来リテ、展リ、彼ハ、靴、忘、ル、今、到、候
 セシ、清、取、リ、テ、モ、ナ、リ、ヨ、リ、余、ハ、一、時
 再、ヒ、送、接、セ、ル、時、リ、ヨ、電、水、林、服、本、
 来、ル、岩、島、ノ、幹、郎、サ、キ、ヨ、リ、余、ノ、貝、座
 ヲ、カ、キ、廻、シ、待、テ、展、リ、ヤ、ガ、テ、カ、林、
 服、本、靴、忘、ル、ヲ、提、ヘ、テ、樽、路、ハ、赴、キ
 余、ハ、岩、島、ト、差、向、ヒ、テ、夕、飲、ク、喫、キ
 靴、忘、ル、配、送、ニ、任、ス、ル、カ、母、也、
 ナ、ヤ、ク、送、ル、由、テ、送、リ、ス、ル、又、
 一、時、石、十、時、南、人、家、ヲ、出、テ、本、邸
 ノ、手、野、庭、ニ、入、リ、テ、大、ニ、飲、後、ス

詠の余と流石中 "Jef walle"
 ト云ヒテ余トガナシ 昔面低頭シ
 テ引ケラトリケル 彼ハウカア一云
 下等云々 全ク字カ足ラヌ為ナリ而シテ
 彼今ニハ三編ナリ嗚呼嗚呼此中
 哉四合ノ酒ヲ飲シタルガソ中五
 勺ハ彼ノ屬シ三合事ハ余ニ屬ス
 余ハ多少快酔シテニ時家ニリヨシ
 意匠痛ヲ草ニテラ企テ果サス
 珍奇愉快ナル古今畫家ノ
 名筆ヲ見テ目ヲ樂シシ 翌日午方
 一時後ニ就テ兄ハ山田守弘方ヘ
 一泊

三月三日(火)

掃田門外雪血ノ如シト云フ大妻ノ
日ヲ女子アル家ニテハニシテ二浦ノマ
イニテ祝フト云フ日也。然レトモ余
ノ身ニアツテハ何ニモ別リナキハ不審ナリ。
吾身トツテ二十五ニモナレバカトハ
論理學ニウチキ新有ノ論ヲガトス。
例ノ通り五時ノ如ク沐浴シテ大快
ク愛ハ夕食ノ小快ヲ感ス余ハ今ゾ
オーリヲラセシ學授ノ筆記ヲ秩序的
ニ見ルニ大ニ研究セントスルガアリ
見ハ何時頃ヨリ余ハサレテ居ラセ
九時ノ家ニ出テテ勤勞シ(ガリヤ)
ヒル家ニ入リテ大ニ飲シ快クシテ家
ニリテ直ク日ヲ沈ラセテ次デ小便シ。
辰ヲタシ。鼻ヲカシ。巾着燻燻燻、
直ク切テイラシ申ソ。……。
巾着ヲガケナサル子ノダラテヒルニテ飲シ
タモ。飲レダリニ酔ハズニ置カヌ。
酔フカ上ナリ……ヘン……管モ巻カク。ユル……
ユルテクワレ……家業共。改善ノイトマ
ヲトラスヤ、早ク行テ休メ。ハ……ハッ……◎

第ハ昨日ヨハ一ハ心ニ勉強
スルヨ。潜龍先生
ガ勉強スルヨト云フタリトハ丈夫
イカニハ大勉強スルニ違ヒイカ
ヨク見玉ヘ。ホトカ子... ウリジヤハ。
モ一何時。十一時。ホトカ子？ウリ...
ジヤナイ。ソナラトテ余モ寝ニ就ク。
併し余ハど一ハ。毎ニ夜位ニ腹
エ合ノキヲ臭解ニ。ど一ハ飲ム可シ
大ニ飲ム可シ又ウラ大ニ飲ムル位
ッ飲マズンバハル可カラザルナク...

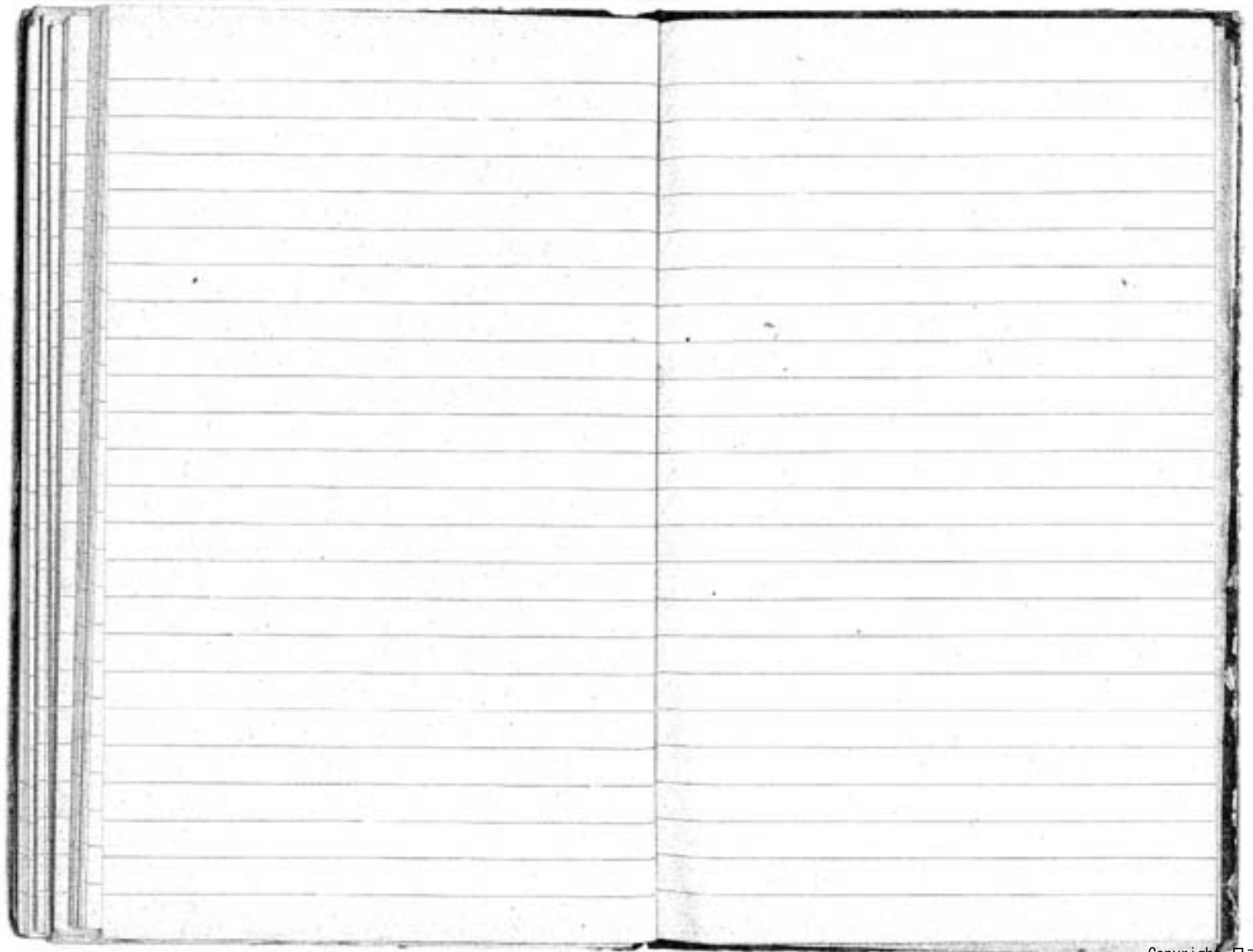
三月四日(水)

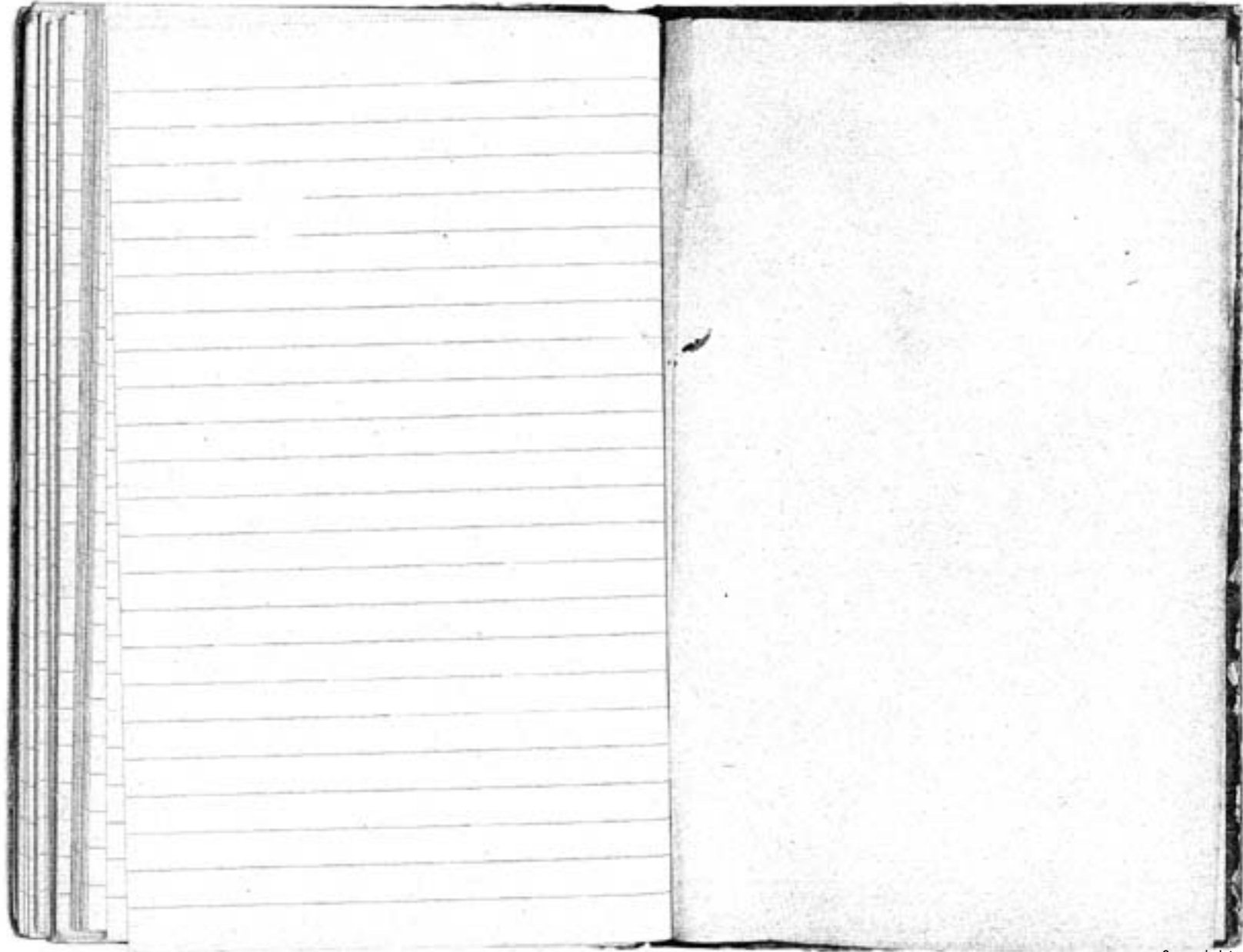
例/如の五時迄キ帰宅夕飯ヲ持
リタリ今日ハ細雨濛々トシテ夜更ニ
陰鬱ナルヲ以テ室中湿ワリ汚臭ト
ナキ登ル余ハ心地悪キヲ堪フコト
火ヲ盛ニオコシテソノ光ヲ以テ照
シテ景氣ヲ和シテ茶ヲ飲シテガク
ウツレ氏ノ書ヲ讀シテ大ニ興ヲ
催シ次ニ冷金集ヲ研究シ又
佳句ナドヲ蒐集シ著匠論ヲ述
草セントス時已ニ十一時ニ至リタリ
余ハイツニナク起居シテ精進寮
ニ入リ以テ家ヲ出テソバヲ食フ
ニ本酒一盃ソバニ満足シ家ニ
別リテ寝コケル見ハ八時頃 帰宅
シ直キ又外出シ一時頃 帰宅
セリ。

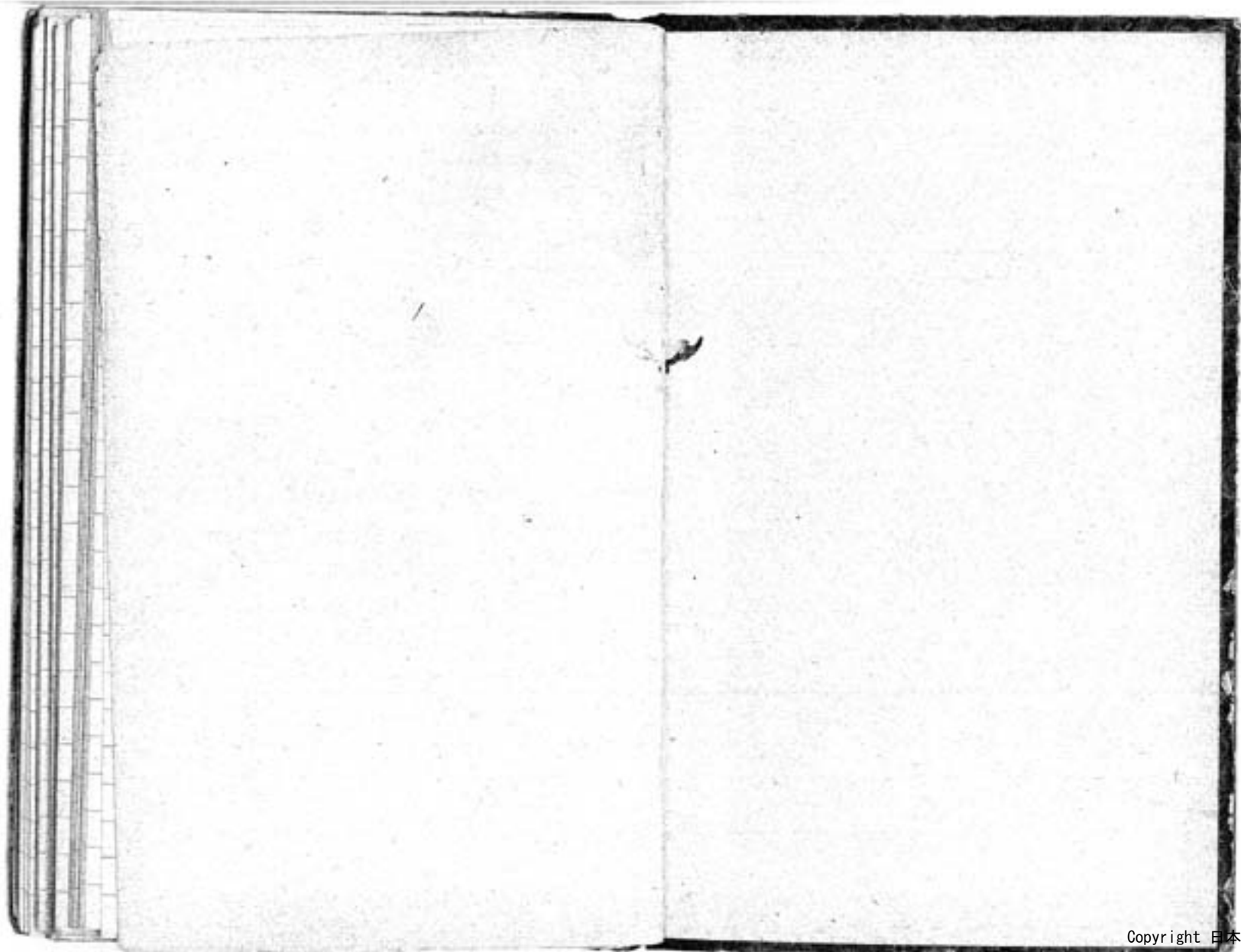
三月五日(木)

八時^時授六時^時帰電スルバ^がかり
セルモ直理^ト夕飯^後幸田^{へ行}
クセル身^が病^ヲ防^ハハ^ル幸田
飯^母に至^テ冷^冷余^ヲ遇^セ余^ハ
カ^ル所^ニ片^時モ^居ル^名ス^直ト
先^年シ^テ大^雨ヲ^犯シ^田中^苗七^部ヲ^今
川^小路^ノ下^端ニ^防ツ^中山^来冷^セ
外^ハ大^ニ愉^快ニ^テ酒^宴ヲ^始ム
唯^身余^等ハ^酒ノ^友タル^後ガ^ル乎
Nein, 余^ノ酒^ヲ嗜^ムル^以テ^彼ニ^酒
ヲ^勧ム^ルニ^モナ^キ余^ガ下^戸ニ^茶ト^菓
子^ヲ勧^ムル^カ如^シ。冷^然巨^出中^ル
ニ^興アリ^十時^少シ^茶同^代ヲ^出シ^中
山^ト帰^電シ^電ス^電中^中山^ニ別^レ余
リス^テト^行ハ^ルス^ルニ^ステ^ハガ^レニ
閉^セリ^他外^ニテ^帰電^シ見^ルハ^十
分^ニ解^臥シ^{タル}カ^聞ケ^ハ今^日山^田ト^市
村^電見^物ニ^赴キ^帰電^負長^ニ立^テ齊^フ
タ^リテ^土屋^ルヲ^告ッ^余ハ^少シ^土産
ヲ^食ヒ^日記^ヲツ^テ翌^日未^明ニ^起テ^心
ナ^レバ^今夜^ハ十^一時^半後^ニ起^ル意^ニ

兄ノニ就テ云セ置ケテアリ足ハ山田守弘
ト云フ下ヲ又人物ト水眞モタラ又交シ
其ニ遊興費ス所百金ニ下ラズ為ニ
兄ハ學業ヲ次キ終日終夜酌酒
シテ眞面目ノ考ヘテ生スルノ道ナキモ
如ク家に在リテ旅ト稱ル位ナリ
ハ流石ニ山田ニ頭ヲ下ゲルヲ取テガ
五十餘円ノ金ヲ金貸シ商コト借リテ
山田ニ拂ヒタルハ宜シト云レモ兄ハ
爲ニ斯ク山田ト親交リテ爲ニ學事ヲ志
スルヤ甚ク以テ怪シキコトヲ男子一
通りノ分別アリ五十ヤ百ノ金ヲ費スニ於
テ余ハ亦シモ非難セズ只余ハ山田ノ
如キ人物ト親シテ其ニ樂快ヲ取ル
ノ奇ヲ怪シム。鳥ノ鳴カヌ日ハアリ
トモ兄カ醉ヒテ居ラヌ日ハナキナリソ
レヨリ身体ヲ傷ムコトヨ。鳥ノ鳴カヌ
日ハアリトモ兄ガ書ク後ノ字ヲ盡キタル
ノ日ハナキナリソレヨリ學事ヲ進シ行
コトヨ。鳴キ手足モ亦才物ナリ哉
可ク。







明治二十三年

自十月二十日

至三月五日

第八

8

8

M. 23. 10. 25
~ 11. 14

以下は預けて M. 24. 1. 26
との間は主要な事項の年書。

M 24. 1. 27
~ 3. 05

つきよのたび